

平成30年度 第1回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 平成30年6月6日(水)10時～
場 所 湯梨浜町役場 講堂

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 委員紹介

4. 会長あいさつ

5. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るK P I 及び具体的事業の進捗状況
と取組状況について

【資料1】湯梨浜町の人口動向

【資料2】湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

【資料3】総合戦略業績評価指標（K P I）一覧

【資料4】総合戦略平成29年度事業実績

【資料5】総合戦略平成30年度事業計画

6. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について

【資料6】湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 抜粋

7. その他

8. 閉 会

参考資料：湯梨浜町の人口動向

資料1-1

○平成29年の出生数は前年に比べて大幅に増加したが、死亡者数も前年より増加したため、自然減は前年より微減。
○町への転入は前年より増加、転出者は前年より大幅に減少したため、4年ぶりに社会増となった。

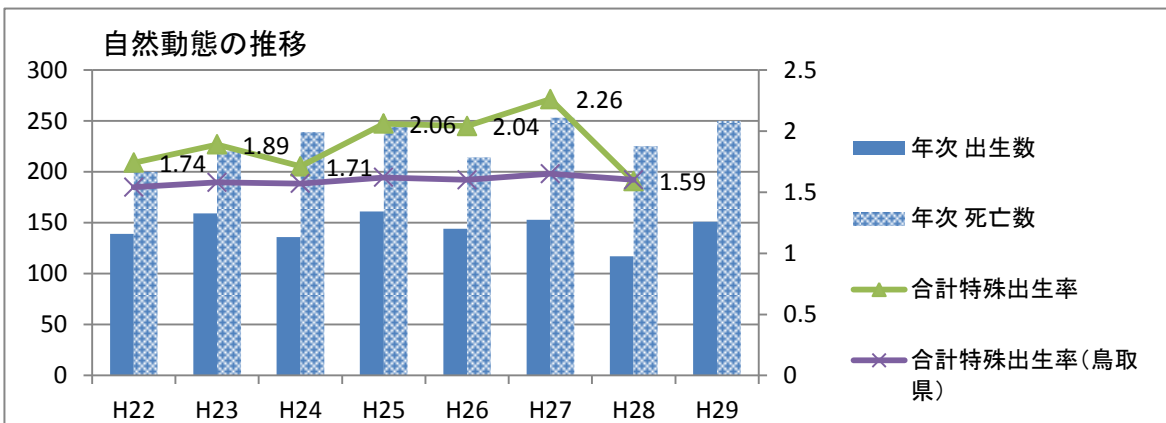
1 自然動態の推移

【自然動態の推移】

年次	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
自然増減	▲ 61	▲ 61	▲ 103	▲ 83	▲ 70	▲ 100	▲ 108	▲ 99
出生数	139	159	136	161	144	153	117	151
死亡数	200	220	239	244	214	253	225	250

【出生数と合計特殊出生率の推移】

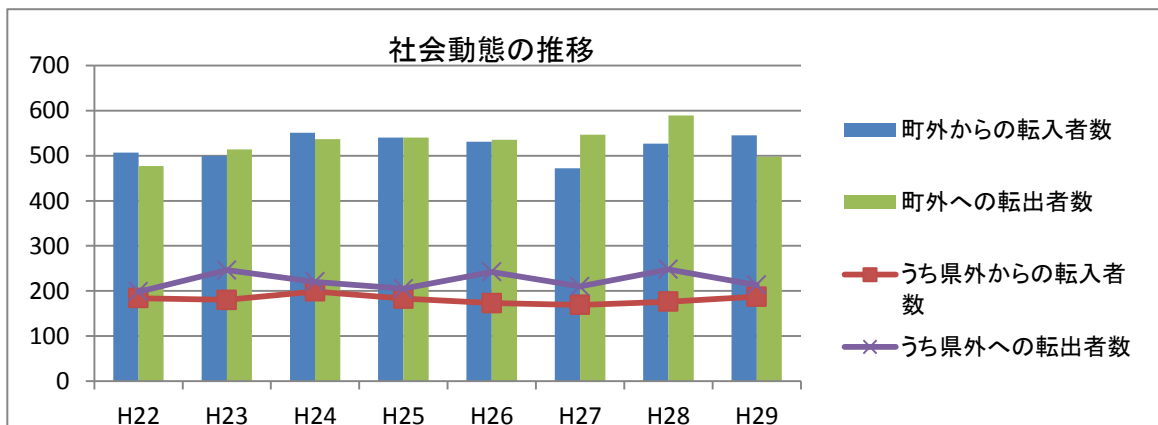
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
出生数	139	159	136	161	144	153	117	151
前年比	▲ 16	20	▲ 23	25	▲ 17	9	▲ 36	34
合計特殊出生率	1.74	1.89	1.71	2.06	2.04	2.26	1.59	
合計特殊出生率(鳥取県)	1.54	1.58	1.57	1.62	1.60	1.65	1.6	



2 社会動態の推移

【社会動態の推移】

年次	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
社会増減	30	▲ 14	14	0	▲ 4	▲ 75	▲ 62	47
町外からの転入者数	507	500	551	540	531	472	527	545
町外への転出者数	477	514	537	540	535	547	589	498
うち県外転入増減	▲ 14	▲ 66	▲ 21	▲ 22	▲ 69	▲ 41	▲ 72	▲ 26
うち県外からの転入者数	184	180	199	183	173	169	176	187
うち県外への転出者数	198	246	220	205	242	210	248	213



出典：出生数、死亡数、転入出者数…「鳥取県人口移動調査」
合計特殊出生率…人口動態調査(厚生労働省)をもとに県福祉保健課が算出

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

1. 取組状況の概要

○昨年度に比べ、計画より遅れている事業が増加(D評価H28:26事業⇒H29:36事業)し、逆に計画どおり以上に進んでいる事業が減少した。

○OKPIでは、自主学習の広場利用者数(小学生)やNPO法人、ボランティアグループの数の2項目で目標を達成または達成しそうのため、本年度の総合戦略の見直しにおいて、上方修正を検討する。

取組が達成済あるいは計画どおり以上に進んでいる項目は約6割(63.3%、62/98項目)

評価区分	3年目評価	(参考)2年目評価	(参考)1年目評価
A:達成済、事業完了	3	1	0
B:計画以上に進んでいる	6	7	21
C:計画どおりに進んでいる	53	58	35
D:計画より遅れている	36	26	18
E:未着手、未実施、先送りなど	0	2	1
合計	98	94	75

基本目標の進捗状況

項目		1年目実績	2年目実績	3年目実績	5年目目標値
しごと	温泉宿泊客数	167,885人	157,589人	154,570人	20万人(年間)
	新規就業者数(常用雇用)	189人	205人	227人	200人(年間)
ひと	合計特殊出生率	2.04	2.26	1.59	1.95
	出生数	143人	109人	159人	160人(年間)
まち	県外からのIJUターン者数	177人	176人	189人	850人
	転入転出異動	▲75人	▲62人	47人	H31年度均衡

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

資料 1-3

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値 (H26)	実績			H31目標値	担当課
			H27	H28	H29 算出根拠等		
温泉宿泊客数	温泉、食、歴史などの資源やイベントを通じ、町が一体となった観光基盤を充実させ、年間20万人の宿泊客数を目指す。 (H25 178,296人、H26 165,940人、H27 167,177、H28 157,589人)	165,940人	167,885人	157,589人	154,570人	旅館組合宿泊客数報告による	20万人(年間) 産業振興課
新規就業者数(常用雇用)	町民が町内・町外の企業等に就職した常用的雇業者数(フルタイム、パート)が減少している状況であるが、5年後には新規就業者数年間200人を目指す。(H25 269人、H26 222人、H27 189人、H28 205人)	222人	189人	205人	227人	町民が町内・町外の企業等に就職した常用的雇業者数。倉吉公共職業安定所(ハローワーク倉吉)から情報提供。	200人(年間) 産業振興課

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (H26)	実績			H31目標値	担当課
					H27	H28	H29 算出根拠等		
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進	梨栽培面積	現状維持	180ha	△12ha 【累計】168ha	0ha 【累計】168ha	△6ha 【累計】162ha	JA、東郷果実部から聞き取り	180ha
	○新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進	梨新品種への改植・新植	新甘泉など新品種への改植・新植を行い、栽培面積を3.5ha増やす(年0.7haの増)	1.5ha	0.18ha 【累計】1.68ha	0.35 【累計】2.03ha	0.47ha 【累計】2.5ha	補助金を活用した農業者の植栽面積を集計	5.0ha
	○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓	新規就農者	新規就農者の7名増(年1~2名の増)	8人	1人 【累計】9人	2人 【累計】11人	2人 【累計】13人	河村隼佑(認定新規)、唐崎大義(認定新規)	15人
	○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策	認定農業者(家)数	認定農業者件数を13件増(年2~3件の増)	37経営体	4経営体 【累計】41経営体	4経営体 【累計】45経営体	0経営体 【累計】45経営体		50経営体
	○東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興	GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数	特産品等の販路拡大につなげるため、商標権等の取得件数を3件増やす	0件	0件	0件	0件	相談(JA鳥取中央)のみ	3件
		利用権設定面積	農地の荒廃を防ぐため、利用権設定面積を32.5ha増やす(年6.5haの増)	219.5ha	0.9ha 【累計】220.4ha	26.7ha 【累計】247.1ha	1.2ha 【累計】248.3ha	農地基本台帳より	252.0ha
		シジミの漁獲量	シジミの漁獲量を155t増やす(年30tの増) ※H20、21年頃を目指す	45t	49.5t 【累計】94.5t	28t 【累計】122.5t	2.0t 【累計】124.5t	東郷湖漁協 聞き取りによる	200t
		漁業経営体数	現状維持	49経営体	△1経営体 【累計】48経営体	△1経営体 【累計】47経営体	△2経営体 【累計】45経営体	泊地域 32→33、羽合地域 15→12 合計45経営体	49経営体

観光産業の振興	○「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進 ○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進) ○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進 ○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上) ○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客	海外からのイベント参加者数	グラウンド・ゴルフ、ウォーキング大会等を開催することにより、1,115人増やす(年223人の増) 現状値55人はH26グラウンド・ゴルフ国際大会の参加者数	55人	■GG 128人 ■ウォーキング 118人 【累計】301人	■GG 64人 ■ウォーキング 106人 【累計】472人	■GG 102人 ■ウォーキング 0人 【累計】574人	(グラウンド・ゴルフ国際大会) スペイン6人、韓国30人、モンゴル16人、ポーランド9人、フランス1人、中国20人、台湾20人	1,170人	産業振興課 生涯学習・人権推進課 健康推進課
	海外からのイベント参加国数	グラウンド・ゴルフ、ウォーキング大会等を開催することにより、26か国増やす(年5か国の増) 現状値はアメリカ、韓国の2か国	2か国	■GG 4か国 ■ウォーキング 3か国 【累計】9か国	■GG 5か国 ■ウォーキング 17か国 【累計】31か国 【実参加国累計】19ヶ国	■GG 7か国 ■ウォーキング 0か国 【累計】38か国 【実参加国累計】20か国	(グラウンド・ゴルフ国際大会) スペイン・韓国・ポーランド・モンゴル・フランス・中国・台湾	25か国		
	スッポン出荷数	温泉水を活用して養殖したスッポンの出荷数を2,000匹増やす(年400匹の増)	0匹	0匹	0匹	0匹	29年度実績なし	2,000匹		
	新規Wi-Fi整備施設数	町内観光施設等へのWi-fi設置を20件増やす(年4件の増)	0件	7件 【累計】7件	0件 【累計】7件	0件 【累計】7件	29年度実績なし	20件		
	着地型観光商品利用者数	既存観光商品の推進や新規観光商品の開発により利用者数を1,500人以上とする	533人	446人 【累計】979人	210人 【累計】1,189人	478人 【累計】1,667人	観光協会実績報告より	1,500以上		
商工業の振興	○事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援 ○地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進 ○ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進	支援制度を活用した起業数	企業立地補助金やチャレンジジョブ奨励金事業等を活用した企業数を7件に増やす(年1件の増)	3件	1件 【累計】4件	2件 【累計】6件	7件 【累計】13件	29年度実績 ■企業拡充奨励金=1件(富屋製パン所) ■チャレンジジョブ支援奨励金=1件(居酒屋なかちゃん) ■雇用促進奨励金=1件(有限会社アトラス警備保障) ■ゆりはまじげ産業育成補助金=2件(あかまる牛肉店、株式会社プレマスペース) ■ふるさと名物応援事業支援補助金=2件(株式会社プレマスペース、有限会社望湖楼)	7件	産業振興課
雇用の推進	○地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出 ○就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進 ○高齢者の経験や知識を活用した就労の支援(CCRCによるアクティブシニアの活用等)	支援制度を活用した雇用者数	雇用促進奨励金事業等を活用した雇用者数を10人以上に増やす(年2人の増)	2人	1人 【累計】3人	5人 【累計】8人	0人 【累計】8人	29年度実績なし	10人以上	

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値(H26)	実績				H31目標値	担当課
			H27	H28	H29	算出根拠等		
合計特殊出生率	若い世代の人口を維持し、出生率増加を図る。 平成31年度公表(平成30年分)合計特殊出生率1.95を維持する。 H27年度2.04、H28年度2.26、H29年度1.59	-	2.04	2.26	1.59	平成29年度中に県が公表した平成28年分の合計特殊出生率。厚生労働省から交付された人口動態調査結果を基に、鳥取県福祉保健課が算出したもの。平成28年中(H28.1.1～H28.12.31)の女性人口、出生数が算出基礎数値となっている。	1.95	子育て支援課
出生数	合計特殊出生率の維持とともに、出生数そのものの増加をめざしながら人口減少克服を目指す。 H25年度156人、H26年度149人、H27年度143人、H28年度109人、H29年度159人	-	143	109	159	平成29年度中(H29.4.1～H30.3.31)の出生数。本町健康管理システム(住基連動)データを用いた。	160人(年間)	子育て支援課

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値(H26)	実績				H31目標値	担当課
					H27	H28	H29	算出根拠等		
子育て環境の推進	○安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減) ○妊娠前から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 ○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進 ○子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進 ○地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていくこととするふるさと教育の推進 ○仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進	1歳6ヶ月未満児を家庭で子育てする率。	年度末時点において、1歳6か月未満児を家庭で子育てする率を88.4%以上とする。 年間1%増とし、今後3年間で3%増とする。	62.2% (1歳未満児の家庭子育て率)	59.7%	85.4%	86.90%	平成29年度は、年度末時点において、1歳6か月未満児のうち、家庭で子育てをしている者の割合とした。 平成30年3月31現在、1歳6か月未満児の数は206人。内入園児数27人。差引人数(未就園児)179人。家庭で子育てする率86.9%。	88.40%	子育て支援課
	第3子以降出産数	年間30人。5年間で150人。	27人	26人 【累計】53人	29人 【累計】82人	35人 【累計】117人	年度内に祝金の支給決定、支払いした件数。	150人		
	こども園待機児童数	現状維持	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
	自主学习の広場利用者数	土曜日や平日に学校等で学習支援活動や学習の機会を提供。小学生で年70人、中学生で年25人を目標とし、5年間で小学生280人、中学生で100人の利用者数とする。	小学生 0人 中学生 0人	小学生 0人 中学生 0人	小学生63人 中学生18人 【累計】	小学生78人 中学生24人 【累計】	小学生141人 中学生42人	自主学习の広場を利用した小学生及び中学生の利用者数	小学生280人 中学生100人	教育総務課
	故郷で暮らしたい児童の割合(アンケート実施)	アンケートを小・中・高で実施し、故郷で暮らしたい児童(生徒)の割合を70%以上とする	-	59%	未実施	47.8%	アンケート調査:7月(50.1%)・2月(47.8%)実施	70%以上		
	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	認定企業数を10社増やす(年2社の増)	12社	2社 【累計】14社	0社 【累計】14社	1社 【累計】15社	認定を受けた事業数	22社	企画課	
地域福祉の推進	○地域や個人に密着した健康づくりの推進 ○ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進 ○保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る ○アクティブシニアとして、町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進	介護予防・健康づくりリーダー養成者数	5年間で100人を養成(年20人の増)	0人	20人 【累計】20人	23人 【累計】43人	17人 【累計】60人	介護予防・健康づくりリーダー養成講座修了者数	100人	長寿福祉課
	CCRC事業に参画する民間事業者・団体数	参画団体を5年後に27団体以上 現在参画団体が24団体あるため、今後3年間で1年に1団体以上、合計3団体以上参画団体を増やす。	0団体	0団体	24団体 【累計】24団体	0団体 【累計】24団体	まちづくり会社出資者数等(町を除く出資者 22、CN協会、まちづくり会社)	27団体以上	みらい創造室	

づ結 く婚 りの と出 情会 報い 提の 供場	○結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支援員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進 ○出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進	結婚支援事業による婚姻件数	縁結び支援員事業等により婚姻した件数を5件増やす(年1件の増)	1件	0件 【累計】1件	0件 【累計】1件	0件 【累計】1件	増減なし	5件	企画課
--	---	---------------	---------------------------------	----	--------------	--------------	--------------	------	----	-----

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値(H26)	実績				H31目標値	担当課
			H27	H28	H29	算出根拠等		
県外からのIJUターン者数	人口減少に歯止めをかけるため、H27から31のIJUターン者数850人を目指す。	-	177人	176人 【累計】353人	189人 【累計】542人	男:91人、女:98人	850人(H27~31)	みらい創造室
転入転出異動	人口減少に歯止めをかけるため、H31年度での転入転出の均衡を目指す。	-	△75	△62	47	鳥取県統計課「鳥取県人口移動調査」より 転入:545人、転出:498人	H31年度均衡	みらい創造室

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値(H26)	実績(H27、H28は累計)				H31目標値	担当課
					H27	H28	H29	算出根拠等		
移住定住の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やIJUターンの促進に向け広く本町の魅力を発信 ○若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進 ○空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進 ○移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る。 ○鳥取大学等との連携による「地(知)の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る 	空き家バンク成約件数	空き家情報バンクを利用して成約した件数を22件増やす(年4件の増)	3件	1件 【累計】4件	1件 【累計】5件	5件 【累計】10件	空き家バンク利用実績	25件	みらい創造室
		若者・子育て世代の移住件数	補助制度を利用して移住した件数を55件増やす(年11件の増)	0件	6件 【累計】6件	19件 【累計】25件	24件 【累計】49件	移住定住者住宅支援事業、若者夫婦・子育て世代住宅支援事業及び三世帯同居等住宅支援事業を利用した町外からの移住件数	55件	みらい創造室
まちのにぎわい創出や拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援 ○災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進 ○いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進 ○分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る ○地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興 ○ICTの急速な進化がもたらす社会への対応 ○地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進 ○温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る ○環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す 	新規自主防災組織取組件数	自主防災組織取組件数を10件増やす(年2件の増)	65件	3件 【累計】68件	2件 【累計】70件	1件 【累計】71件	自主防災組織設立実績	75件	総務課
		集会所バリアフリー件数	集会所バリアフリー件数を25件増やす(年5件の増)	0件	3件 【累計】3件	6件 【累計】9件	4件 【累計】13件	はわい温泉区温泉集会所、南谷公民館、松崎2区公民館、上浅津農事集会所の4カ所バリアフリー改修完了	25件	総合福祉課
		小さな拠点の数	小さな拠点取り組み地域を1地域増やす	0地域	0地域	1地域 【累計】1地域	0地域 【累計】1地域	平成28年9月に泊地域小さな拠点検討協議会を設立	1地域	みらい創造室
		温泉熱エネルギー利用施設数	温泉熱エネルギーを利用した施設を4施設増やす	0施設	3施設 【累計】3施設	0施設 【累計】3施設	0施設 【累計】3施設	増減なし	4施設	企画課
		NPO法人、ボランティアグループの数	NPO法人、ボランティアグループの数を47団体に増やす	36団体	2団体 【累計】38団体	0団体 【累計】38団体	7団体 【累計】45団体	ボランティア登録団体が4団体増(木香バラによる町づくり会、東郷池メダカの会、泊1区ボランティアロード、泊潮風クラブ)	47団体	企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
1 湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ・総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 48千円 ・報告会、説明会、研修会への参加旅費 504千円 ・消耗品の購入、郵券料 130千円	682	<ul style="list-style-type: none"> 5月9日に本部会議を開催。H28のKPI、事業の達成状況、H29事業内容等を協議した。 5月31日総合戦略会議を開催。H28のKPI、事業の達成状況、H29事業内容等を協議した。また、総合戦略を改訂した。 総合戦略会議の資料、議事録をHPに掲載。 6月16日議会へH28のKPI、事業の達成状況、H29事業内容、総合戦略改訂について報告。 7月18日、本部会議を開催。H29事業進捗、状況等を協議。 11月13日、本部会議を開催。H29事業進捗、状況等を協議。 12月7日総合戦略会議を開催。H29事業内容等を協議した。また、総合戦略を改訂した。 	333	総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 予定通り会議を開催している。 総合戦略会議 2回開催 本部会議 3回開催	みらい創造室
2 農産物販路拡大及びブランド化推進事業	○二十世紀梨販路拡大PR事業 進物用パンフレットを見てJA等の生産者や役場に問い合わせをしてきた消費者が増えていることから、販路拡大につながるようパンフレットの作成を支援するもの。 【補助率】1/3以内 ただしH29については事業を行わない(H28に大量(10万部)に印刷したため、H29は消費者の反応等を収集する期間とし、H30にそれらデータを元に見直し等を協議・新パンフレットの作成を行う)	0	昨年度作成のパンフレットを活用。梨柿ぶどう等の進物箱に同封するほか、DMで送付した。	0	梨の平均単価の単価増(最終的には全品目で+100円/10kg)	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 28年産と29年産の10kg箱単価比較 ハウス20世紀梨 6,279円⇒6,404円 20世紀梨 4,008円⇒4,133円 なつひめ 4,249円⇒4,802円 新甘泉 5,609円⇒5,690円 新興 3,380円⇒2,644円 あたご 4,599円⇒3,131円 平均単価100円以上増の商品 3品種/6品種中 達成率 3/6=50%	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
3 鳥取梨等生産振興事業（農業生産現場強化事業）①	<p>・鳥取梨生産振興事業（地方創生） 【事業内容】県が注力している新品種（輝太郎、シャインマスカット）を中心に栽培に必要な資材（苗木、土壌改良剤等）・施設（果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど）の整備を支援。 【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3（県1/2+町1/6）、既存の品種が中心の場合は1/2（県1/3+町1/6） 【対象者】町内で柿又はブドウを栽培している農業者（認定農業者は個人で取組可）または農業協同組合</p>	420	<p>JAで申請受付したところ、実施希望する農家もあったが、経営計画の変更により事業実施に至らなかった。 事業実施面積 0a</p>	0	新品種（輝太郎）の新植面積の50a増	0%	<p>【評価：D 計画より遅れている】 相談、要望があったが新植に繋がらなかった。</p>	産業振興課
4 鳥取梨等生産振興事業（農業生産現場強化事業）②	<p>・鳥取梨生産振興事業（地方創生） 【事業内容】県が注力している新品種（新甘泉、秋甘泉、王秋）を中心に栽培に必要な資材（苗木、土壌改良剤等）・施設（果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど）の整備を支援。 【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3（県1/2+町1/6）、既存の品種が中心の場合は1/2（県1/3+町1/6） 【対象者】町内で梨を栽培している農業者（認定農業者は個人で取組可）または農業協同組合</p>	19,370	<p>■新甘泉、王秋の苗木 新植 1件 20.0a 改植 3件 27.2a ジョイント 9件 93.0a ■施設整備 かん水施設5件、園内道路1件、果樹棚6件、網かけ施設1件、排水施設1件、防除用機械1件</p>	16,210	対象農業者による省力化防除面積の20%増	105%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 梨農家の作業省力化に向けた動きが順調に進んでいる。 対象農業者の経営面積1,765a 目標面積 1,765a × 20% = 353a 省力化防除面積（SS利用面積 + 省力化品種改植面積） = 372a 達成率 372a/353a=1.054</p>	産業振興課
5 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業	<p>【地方創生推進交付金】※当初予算計上（H27からの先駆型継続事業）後継者のいない梨園を借りて梨を栽培し、産地の維持に寄与するとともに規格外の梨を加工品用に出荷する等で6次産業化を目指す取り組みに対して支援。 【補助金】2,000千円（定額） 【事業者】東郷梨地域連携栽培プロジェクトチーム（産官学農福による連携プロジェクト）</p>	2,000	<p>後継者のいない農地を活用（借用）し、二十世紀梨を栽培、販売した。 プロジェクトチーム会議では、梨の葉の収穫と活用について検討した。 栽培面積52a 従業員数 1名→2名</p>	2,000	梨栽培面積30a増（前年と合わせ栽培面積95aとする）	54.7%	<p>【評価：D 計画より遅れている】 農地と雇用の確保が整わず目標達成には至らなかった。 来年度に向けて、新しい樹園地と雇用者の確保が必要。 達成率 52/95=54.7%</p>	産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
6 二十世紀梨を守る事業	<p>【地方創生推進交付金】※当初予算計上 県事業の対象とならないオリジナルの二十世紀梨の苗木やハウス二十世紀梨の資材(苗木など)、ハウスの機能強化・強度向上に対して支援を行う。</p> <p>【補助率】 1/2 【対象者】 町内で二十世紀梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合</p>	3,393	<p>■二十世紀梨(おさゴールド)苗木 1件 ■かん水施設 1件 ■高機能被覆資材設置 5件 ■自然災害対策用補強 5件 このうち、二十世紀梨苗木代補助が、地方創生推進交付金対象 苗木代7,950円×1/2=3,975円</p>	3,092	新植またはハウス梨の機能向上面積を50a以上の増とする	350%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 二十世紀梨生産の継続にかかる施設の機能向上、強度向上、苗木の新植に8名の生産者が事業を活用した。 8名のハウスの経営面積は175aで目標を達成。 達成率 175/50=350%</p>	産業振興課
7 湯梨浜版担い手認定	<p>○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金:就農3年以内の対象者に定額30万円、④ ○新規就農者住宅家賃補助:町外から転入する就農者に家賃の1/2(上限2万円)を補助、③・④ ○中古機械導入補助:中古機械導入費の1/3(上限10~50万円)を補助、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助:農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5~30万円)、①・②・③・④・⑤</p>	2,786	平成29年度は10件の就農相談を受けた。認定新規就農者を1名認定。認定農業者の認定に向け3名と協議してきたが、年度内の認定に至らなかった。	1,562	準認定新規就農者:1人増 準認定農業者:2人増	33%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 就農相談は一定数あるものの、目標に定めた準認定の要件を満たす担い手として認定に至る案件はわずかである。 H29準認定農業者 1名 達成率 1/3≒33%</p>	産業振興課
8 中核的担い手農家育成奨励金交付事業(農業生産現場強化事業)	<p>【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けた場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けた場合も対象としている。</p>	1,179	利用権設定筆数 92筆 利用権設定面積 12.8ha	1,179	権利設定面積 8ha	160%	<p>【評価:B 計画以上に進んでいる】 目標に対して160%達成しており、担い手への集積が順調に進んでいる。 達成率 12.8/8=160%</p>	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
9 もうかる6次化・農商工連携支援事業	<p>【事業主体】(株)ネクステファーム</p> <p>【事業内容】農産物の生産から販売、消費まで行う多角化農業に必要な施設・機械導入及び販路拡大の取組みを支援。 (水稲乾燥調製設備、トラクター、トマト用ハウス、販売促進チラシ等)</p> <p>【事業費】12,924,533円</p> <p>【補助金額】8,616,355円(県6,462,266円、町2,154,089円)</p>	6,487	<p>施設整備は計画通り完了した。</p> <p>水稲乾燥機2台 トラクター1台 ミニトマト用ハウス1棟</p> <p>常時雇用者 H29 常雇用3名 パート4名</p> <p>農産物販売額 H29 1,588万円</p>	6,487	計画認定者の農産物販売額 860万円	184%	<p>【評価:A 達成済、事業完了】</p> <p>計画認定者の経営規模は水稲受託や白ネギ、トマトなど順調に規模拡大しており、目標の農産物販売額を達成している。</p> <p>達成率 1,588/860≒184%</p>	産業振興課
10 知的所有権取得支援	<p>○知的所有権取得支援事業</p> <p>知的財産物(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を希望する事業者に対して経費の一部を支援。</p> <p>【補助率】1/2(ただし、上限15万円とする)</p> <p>【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等</p>	0	<p>「東郷梨」のGIマーク取得について、農政局に申請方法等について協議。</p> <p>「二十世紀梨を大切に作る町づくり委員会」を立ち上げ、3月に委嘱。</p>	0	新規取得: 1件	0%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>申請に向けた問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者団体の調整 ・申請手続きの体制 ・地理的特性と産物の特長との結びつき <p>今後、「がんばる地域プラン」に計画を盛り込む。</p>	産業振興課
11 パッケージデザイン作成助成事業	<p>○パッケージデザイン作成助成事業</p> <p>町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料糖を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たに行う事業者に対し、経費の一部を支援。</p> <p>【補助率】1/2(ただし、上限8万円とする)</p> <p>【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等</p>	80	<p>JAぶどう部会の事業活用により、「潮騒熟成ハワイピオーネ」のパッケージデザインを作成した。</p>	80	新規作成: 1件	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>当初申請予定者の意向が変わったが、新たな実施希望者があり事業を活用できた。</p> <p>達成率 1/1=100%</p>	産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
12 砂丘農業復活プロジェクト事業	羽合砂丘地(畑)において、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に5haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。生産作物は芝(米産、ティフグランド)。また、次年に規模拡大する場合、地権者との協議を実施する。27年度に8ha実績あり。	0	耕作者(みどり生産組合)に5haの候補地を提示。うち2.1haのみ栽培認可が得られ、地権者と権利設定済み。残り2.9haは耕作条件が適さないとの評価を受け作付は不可能な状態である。	0	耕作者への利用権設定提示面積 5ha	42%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 提示した候補地の現地調査を受けた結果、雑草が生えやすいなどの状況から4割しか栽培認可を得られなかった。認可を得た作付地について利用権設定済み。 達成率 2.1/5=42%	産業振興課
13 種苗放流支援事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 【予算額】224,400円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 【予算額】266,000円	491	■クリーンアップ事業は9月22日に実施。 ■覆砂事業は11月2日～11月19日に実施。(準備作業含む)	465	シジミ漁獲量 30t増	82%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 実績報告により、事業内容の実施を確認した。計画どおり実施されているが、シジミの漁獲量は昨年度並みである。 ※シジミ漁獲量 H27 94.5t H28 122.5t H29 124.5t 達成率 124.5/152.5=82%	産業振興課
14 沿岸漁業活性化推進事業	町内の漁業者が省エネルギー化により漁業経営改善を図るために、省エネ型エンジンを購入するための経費に対する補助支援。	1,334	漁協を通じて1件の申請があり、省エネ型エンジンの購入設置経費に対して補助した。	1,334	省エネ型エンジン搭載漁船:1隻増	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 要望、申請どおり購入設置に対して補助した。 達成率 1/1=100%	産業振興課
15 海の駅とまりブランド化事業	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通してその実現を目指す。	22,667	■ワークショップ、視察や検討を通して、協議会として取り組む事業の方向性をまとめたビジョンを作成した。 ■ビジョンに基づき、海の駅とまりを周知するためのイベントを平成30年4月22日に開催することを決定した。 ■オリジナル商品4件を開発した(海産物の麴漬、海産物の粕漬、ヒラメ漬丼、海産物のバーガー)。	19,167	オリジナル商品の開発:4件	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 予定どおりオリジナル商品4商品を開発した。協議会メンバーがビジョンに基いた事業に取り組んでいる。 達成率 4/4=100%	産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
16 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けて、国際大会を開催する。	2,830	①5月8日、国際大会実行委員会開催 ②参加者募集開始(~7月31日) ③8月22日、実行委員会開催 募集締め切りを9月15日まで延長(留学生は、10月10日まで延長) ④海外参加者102名(申込者104人) 国内在住外国人参加者31人(申込者37人) 日本人参加者131人(申込者133人)	2,479	推進交付金(H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	52%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 WMGオークランド大会視察、PR活動、国際大会参加者募集については、計画どおり実施できている。 達成率 ①102人⇒達成率54% ②1か国(フランス)⇒50% (54%+50%)/2=52%	生涯学習・人権推進課
17 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 潮風の丘とまりクラブハウス周辺のWi-Fi環境の整備のほか、聖地化に向けた事業を進める。事業に当たっては地方創生推進交付金のほか、県補助金の活用を検討する。	3,492	■クラブハウスに無料公衆無線LANを整備。その周辺で、利用者がWi-Fiを利用できる環境を構築した(県補助金事業)。378,000円 ■レストランの外構工事を行い、ウッドデッキを整備。利用者の休憩スペースを確保した(県補助金事業)。799,200円 ■グラウンド・ゴルフのルールと町内観光スポットを紹介するDVDの多言語化を行った(モンゴル語、ロシア語、スペイン語、タイ語、ポーランド語)(地方創生推進交付金事業)。932,400千円 ■多言語版観光パンフレットを作製した(英語、韓国語、中国語(簡体・繁体))。1,992,600円	4,103	推進交付金(H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	52%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県補助金、地方創生推進交付金を活用した事業は当初の計画どおり実行できた。 達成率 ①102人⇒達成率54% ②1か国(フランス)⇒50% (54%+50%)/2=52%	産業振興課
18 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 本町発祥のグラウンド・ゴルフの国際化のための総合戦略。 海外での普及活動、国内大使館員へのPR活動。 30年度の国際組織設立に向け、日本グラウンド・ゴルフ協会、鳥取県と協議を行う。 海外普及のための活動費等 4,261千円 国際大会実行委員会への補助金2,523千円	6,784	■ニュージーランド・オークランド、モンゴル、上海、台湾で普及活動実施。イングランド大使館、ペルー共和国大使館、ニュージーランド大使館、タイ王国大使館でPR活動実施。⇒決算額 3,992千円 ■4月18日、グラウンド・ゴルフ国際大会実行委員会に補助金交付決定。10月20日、12日大会開催。大会1日目、日本グラウンド・ゴルフ協会、鳥取県及び大会参加各国と国際組織設立に向けた意見交換会を実施。⇒決算額 2,480千円	6,472	推進交付金(H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	52%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 目標達成には至らなかったが、PR活動や意見交換会を通して、海外におけるGG普及及び本町大会参加に際しての課題を把握した。次年度以降の事業実施により、これらの課題解決に取り込む。 達成率 ①102人⇒達成率54% ②1か国(フランス)⇒50% (54%+50%)/2=52%	みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
19 ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	<ul style="list-style-type: none"> ゆりはま天女おもてなしウォーク（実行委員会補助金） 湯梨浜町ウォーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 ●実行委員会補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・PR経費(チラシ・ポスター作製他) ・大会用HP作成 ・海外プロモーション 	5,706	<ul style="list-style-type: none"> ○第4回ゆりはま天女ウォーク H29.10.15(日) 開催 参加者数 429名 【おもてなし内容】 ・梨の無料提供 ・梅酢ジュースの無料提供 ・しじみ汁無料提供 ・龍鳳閣、ハワイゆーたうんの入浴無料券配布 ・燕趙園入園無料券配布 ・会場前ブース、町内協力店で利用できるクーポン券配布 ・完歩された方へオリジナルタオル配布 ・天女コスプレ ・歓迎レセプション(悪天候により中止) 	2,127	推進交付金 (H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	52%	【評価:D 計画より遅れている】 海外向けのプロモ等については、事前着手にならないよう交付金の許可を受けてからのスタートとなったため十分な検討・調整期間が取れなかったことや、昨年検討してきた「友情の道」の条件にコース等が合致しないため、町単独のコースでは海外ウォーカーの魅力の一つにならないこと等考慮し、再度、海外向けの取り組みについて検討することが良策と考え、今回の実施を見送ることとした。 達成率 ①102人⇒達成率54% ②1か国(フランス)⇒50% (54%+50%)/2=52%	健康推進課
20 ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進②	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングリゾート推進事業(地方創生) 誰もがウォーキングコースを歩くことができるよう案内看板等を設置する。 	700	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングコース案内表示板 ○6コース 計57箇所を設置済。 ※完成 H30.3.30 	177	推進交付金案内看板等を設置。 ・6コースに計57箇所設置	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 ウォーキングコースの案内表示板を設置することで町が認定しているウォーキングコースとして認識しやすくなり、多くの人にコースを利用してもらいやすい環境整備ができた。	健康推進課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
21 アロハカーニバル事業 【I:③商工業の振興にも掲載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風アレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンプラリー等の誘客関連の取り組みを行い、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープニングイベント250千円 観光誘致費用(宿泊者プレゼント等)565千円 イベントPR費用600千円 事務費50千円 計1,465千円 上記に対する補助金額1,250千円	1,250	7月1日のメテオパーティを皮切りに19店舗で、オリジナルメニュー23種を提供した。 レイクアクティブプランでは、新たにウォーターリングを取り入れた。 実施期間: 7/1~8/15 ○事業費内訳 オープニングイベント: 279,640円 観光誘致費用(宿泊者プレゼント等): 284,654円 イベントPR費用: 135,004円 印刷物作成費: 439,244円 東郷湖レイクアクティブ委託料: 95,000円 上記に対する補助金額1,250千円	1,250	①新メニュー提供店舗数: 18店舗(38%増) ②新メニュー提供数: 3,500食(5%増)	92%	【評価: C 計画どおりに進んでいる】 ①イベント取組事業者は目標を超える19店舗が参加した。 ②メニュー提供数は2,723食と目標の3,500食には及ばなかった。 達成率 ①19/18=105% ②2,723/3500=78% (105%+78%)/2=92%	産業振興課
22 天女のふる里づくり事業①	・東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」として5か年計画で実施してきた事業の一層の伸展に向け、①緑化・植花の取り組み、②天女を活用した観光振興の二つを柱とした東郷湖を中心とする活性化事業について協議検討し、事業化を進める。 ◆委員報償費等105千円 ◆委員旅費 74千円 ◆消耗品10千円 ◆通信運搬費20千円	209	□創造会議の新たな推進体制を検討し、要綱の改正を行った。 □委員について、関係団体への推薦依頼や公募を行い、委嘱、任命を行った。 □全体会を3回目、ワーキングチームを各2回実施した。 ◆委員報償費等100千円 ◆委員旅費 62千円 ◆消耗品6千円 ◆通信運搬費12千円	180	①植樹実施計画策定: 2カ所 ②天女を活用した観光振興策: 2件	75%	【評価: D 計画より遅れている】 ①宇宙桜を中心とした花と緑の空間を創出するための方針や取組について体系づくりを行い、松崎桜コミュニティを中心に進めることとした。(1/2カ所) ②天女を活用したウォーキングコースのアミューズメント化や特産品への天女イメージの活用などを検討した。(2/2件) ※3項目/4項目達成	企画課
23 天女のふる里づくり事業②	・天女のふる里づくり事業 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施するほか、これまで取り組んできた植樹等の事業の成果(経過)を情報発信する。 ◆イベント参加旅費 77千円 ◆消耗品 55千円 ◆通信運搬費 6千円 ◆高速道路使用料等 12千円	150	□宙ユリ及びハナミズキの開花を情報発信した。(HP、地元新聞、米国大使館公式ツイッター) □京丹後市イベントに参加し、同じ天女のまちであることをPR(産業振興課) ◆イベント参加旅費 77千円 ◆消耗品 51千円 ◆通信運搬費 5千円 ◆高速道路使用料等 10千円	143	①イベント参加: 3回 ②花関連情報発信: 3回	83%	【評価: D 計画より遅れている】 ①8/5京丹後、11/23高石市イベントに参加しPRを行った。(2/3回) ②ハナミズキ、宙ユリの開花状況をマスコミ等に情報発信した。また、緑化講演会等の催しを町報やHPで広報した。(3/3回) 達成率 5/6=83%	企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
24 天女のふる里づくり事業③	<p>・宇宙(そら)桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹を実施し、宇宙の桜＝「天女桜」として大きくPRする。 住民参加を促し、緑化推進の機運醸成にもつなげる。</p> <p>◆報償費 100千円 ◆旅費 276千円 ◆消耗品 76千円 ◆土質改良、看板製作委託 1,080千円 ◆高速道路使用料36千円 ◆植樹実施負担金 260千円</p>	1,828	<p>多くの関係者の協力を得ながら、概ね計画どおりに事業を推進できている。 [実施事項] □関係者等と調整の上、企画内容を検討し、県補助金の申請を行った。 □全体事業を、苗木贈呈式と記念講演を行うイベント、実際の植樹を行う2段階で計画した。 □8/28、29に仁淀川町の町長表敬訪問を実施した。 □イベントについて、10/9(月・祝)に開催し、苗木の贈呈式(贈呈、宇宙飛行士によるビデオメッセージ、小学生の合唱)と記念講演会(宇宙関連)を行った。 □3/6植樹祭を実施した。 ◆報償費 100千円 ◆旅費 242千円 ◆消耗品 63千円 ◆土質改良、看板製作委託 1,045千円 ◆高速道路使用料19千円 ◆植樹実施負担金 260千円</p>	1,729	植樹関連イベント:3つ実施	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 関連イベントとして、①苗木贈呈式、②記念講演会、③植樹イベントの3つを計画。多くの来場を得られるよう、桜だけでなく、宇宙にも力点を置いたイベントを実施した。(宇宙関連の展示など) 達成率 3/3=100%</p>	企画課
25 天女のふる里づくり事業④	<p>・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 1,400千円</p>	1,400	<p>花基金の募集について、チラシを作成し、HPへも掲載した。 ※積立金1,399千円(72口)</p>	1,399	寄付金額を100万円とする。	140%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 □チラシ制作やHP記事掲載を実施。ふるさと納税のページにもリンクを貼っている。 □花基金や宇宙桜など、花関連でHPをまとめられないか検討中。 達成率 1399/1000≒140%</p>	企画課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
26	天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」の活用を進める。	331	<ul style="list-style-type: none"> ■デザイン活用=39件 ■着ぐるみ活用=42件 ■ゆるきゃらグランプリ2017にエントリーし、全国1,158体中170位(ご当地部門681体中89位)、県内5体中2位と、全国で過去最高の順位となった。 	123	デザイン活用:50件 着ぐるみ活用:50件	81%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 目標を上回るペースでデザインと着ぐるみの活用があったが、最終的には目標を下回った。しかし、ゆるきゃらグランプリの結果により、全国的には知名度は向上したと思われる。 達成率 デザイン活用 39/50=78% 着ぐるみ活用 42/50=84% (78+84)/2=81%	産業振興課
27	温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開【Ⅲ:②まちなぎわいの形成にも記載あり】 温泉水を活用したスッポン養殖事業	はわい温泉・東郷温泉の味覚の定番は冬の力ニであるが、期間が限定的なうえ、価格も高い。比較的安価で、通年提供できる町独自の名物料理を提供することで、他との差別化を図り誘客拡大を目指すもの。(スッポン養殖事業)	0	スッポン養殖について、事業用に借りている養殖事業者の水槽が地震によりひび割れし、また水源として利用している地下水くみ上げ設備も地震により修復不能となっており、設備が使えない状態となっている。養殖事業者は廃業の意向であり、事業継続が困難となった。	0	産卵と養殖体制の確立	0%	【評価:D 計画より遅れている】 10月2日に旅館組合から町へ方針を定めた状況報告書並びに協議書等が提出され、事業継続が困難と認めた。	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
28 水明荘経営改善事業	国民宿舎水明荘は年々宿泊客数、休憩客数が減少している。交流人口の増大を目指し、地域のモデルとなるべく、経営の専門家に依頼し、現状調査・分析を行うことで、問題点の明確化を図り、改善に向けた具体案を作成し、経営改善に向けた取組強化を行うことにより、宿泊客等をはじめとする観光入込客数を増やし、東郷温泉の振興及び町の活性化を図る。	454	水明荘の職員体制も含めた経営状況について現状把握を行い、今年度も経営改善に向けて中小企業経営診断士に指導助言を受けるよう方向性を定めた。 6/7経営診断士と年度内計画について協議。 6/19経営診断士、水明荘と経営改善に向けた問題点とその改善に向けた具体的協議を行った。 7/29経営診断士による正職員研修 8/29経営診断士と支配人・事務長協議 9/22研修内容打合せ 9/27水明荘職員全体研修 10/15経営診断士と支配人協議 11/24経営診断士と支配人協議 1/12経営診断士と支配人・事務長協議 1/22経営診断士と支配人・事務長協議 2/18経営診断士と支配人協議 2/27経営診断士と支配人・事務長協議	454	ネット評価:4.2以上	95%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 昨年度から2年目となる事業。1年目に捉えた問題点について、同じ経営診断士が引き続き内部会議に参加し、長期的な改善策も含めて運営指導を行い、経営改善を進めた。 全12回の経営支援協議を行い、職員の意識改革を図るため、正職員の研修や全職員の研修も実施。 ネット評価(じゃらん)4.0 (※H30年4月現在) 達成率 4.0/4.2=95%	産業振興課
29 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。	531	鳥取県中部観光推進機構と連絡調整し各種事業を展開した。	531	推進交付金 中部エリア(H30.3) ①年間観光入込客数 100,000人(H29増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H29増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(H29増加分)	140%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 観光地域づくりを中部広域連携により進めた。 ①年間観光入込客数 1,062,509人(達成率107%) ②年間宿泊客数 141,904人(達成率71%) ③年間外国人宿泊客数 9,643人(達成率241%) (107+71+241)/3=140%	産業振興課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
30	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	<p>【地方創生推進交付金】※当初予算計上 中部地域及び岡山県蒜山地域の観光プラットフォーム機能を充実させて次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし、受入環境整備事業 ・温泉地イメージ戦略事業 ・情報発信事業 ・プロモーション推進事業 ・誘客戦略事業 	3,604	<p>鳥取中部観光推進機構と連絡調整し各種事業を展開している。</p> <p>6/20 トワイライトエクスプレス瑞風出迎え対応 7/1 観光地域の夏のイベント情報を全戸配布 7/6～9福建省ツアー企画でグラウンドゴルフ、村走り対応 7/1～8/31 夏の6エリアスタンプラリー実施 9/5 トワイライトエクスプレス瑞風出迎え対応 9/1～10/31 秋の6エリアスタンプラリー実施</p>	3,604	<p>【目標】 推進交付金 中部エリア(H30.3) ①年間観光入込客数 1,000,000人(H29増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H29増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(H29増加分)</p>	140%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 年度当初から、中部圏域事業として松崎駅への瑞風停車歓迎、東郷池周辺の村走りツアー・グラウンドゴルフなど町内事業が多く取り組まれた。夏のイベント情報や、季節のスタンプラリーなど交流人口増のため地の利を生かした観光商品の提案を進めた。 ①年間観光入込客数 1,062,509人(達成率107%) ②年間宿泊客数 141,904人(達成率71%) ③年間外国人宿泊客数 9,643人(達成率241%) (107+71+241)/3≒140%</p>	産業振興課
31	教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画造成を行う。	9,761	<p>町観光協会が県観光連盟と連携して県外プレゼン活動を行い、視察受け入れを行っている。主に2年後の商談を行っている。</p> <p>関西圏の中学生が主で高等学校もあり。2泊3日コースで町内ではドラゴンカヌーとグラウンドゴルフを体験し、はわい温泉に宿泊する利用が多い。</p> <p>○県外説明会(関西)1回 ドラゴンカヌー協会制作のプロモーションビデオを利用し、6/28開催の関西地区教育旅行情報説明会でプロモーションを行った。 教育旅行パンフレットの増刷を行い、旅行エージェントへ発送した。</p>	9,761	<p>2年後の修学旅行等の予約:4件</p>	25%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 修学旅行は2年先の利用を目的に誘客を行っており、H28年度は熊本地震の影響により、急きょ2件の利用あったが、H29年度は実績なし。 H30年度からが実質的な誘客の成果となるが、H29年度末時点でH30年度4件、H31年度1件の予約が入っている。 達成率 1/4=25%</p>	産業振興課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
32	<p>〈再掲〉 海の駅とまりブランド化事業 【I:①農林水産業の振興にも記載あり】</p>	<p>【地方創生推進交付金】※当初予算計上 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通してその実現を目指す。</p>	22,667	<p>■ワークショップ、視察や検討を通して、協議会として取り組む事業の方向性をまとめたビジョンを作成した。 ■ビジョンに基づき、海の駅とまりを周知するためのイベントを平成30年4月22日に開催することを決定した。 ■オリジナル商品4件を開発した(海産物の麴漬、海産物の粕漬、ヒラメ漬丼、海産物のバーガー)。</p>	19,167	オリジナル商品の開発:4件	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 予定どおりオリジナル商品4商品を開発した。協議会メンバーがビジョンに基づいた事業に取り組んでいる。 達成率 4/4=100%</p>	産業振興課
33	ゆうゆうゆりはま事業	<p>【地方創生推進交付金】※当初予算計上 女性が輝き、主役となるまち湯梨浜を外部に向けて発信するため、様々な分野で活躍する女性を3つの「ゆうゆう(悠々・優々・遊々)」で表現し、町の魅力アップや産業振興のツールとして活用する。</p>	18,145	<p>4月26日に本事業の業務委託先の業者と契約を締結。町内で25人の人物取材を行い、情報発信のためのツールとして人物ポスター25枚、総合ポスター3枚を作成、またカラー冊子「ゆうゆうの人々」92ページ1,000部、A4二つ折パンフレット2,000部を作成した。 7月、8月に動画撮影を行いPR動画を作成。9月には季節にあわせた特産品の取材と人物取材を行い販促チラシA4 1,000部を作成した。</p>	17,763	新規就業者数(常用雇用者数)200人(年間)	113%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 広報用のポスター28種、カラー冊子1,000部、二つ折パンフレット2,000部、A4チラシ1,000部、動画等を作成し、事業広報のためのツールを得ることができた。 達成率 227/200=113%</p>	産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
34 ゆりはまじげ産業支援事業	町内での起業や新事業に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ■事業者への補助金 3,000千円×1事業者	3,000	■次の2事業者に補助金交付。ともに新事業への取り組みを支援した。 (株式会社あかまる牛肉店)ご当地レトルトカレーの開発、補助金交付額610,917円 (株式会社プレマスペース)特産の梨と梅を使用した新商品開発、補助金交付額344,841円	956	起業や新事業への取り組みの支援:1件	200%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 2事業者の新事業への取り組みを支援した。 達成率 2/1=200%	産業振興課
35 チャレンジショップ支援事業【I:④雇用の推進にも記載あり】	町内の空き店舗などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。	615	■空き店舗を活用した事業として、次の1件の申請があった。 (居酒屋なかちゃん)はわい長瀬地内で、空き店舗を活用して居酒屋を開業、奨励金交付額270,000円	270	新規申請:2件	50%	【評価:D 計画より遅れている】 空き店舗を活用した事業として1件の申請があり、6カ月分の賃借料を支援した。 達成率 1/2=50%	産業振興課
36 〈再掲〉アロハカーニバル事業【I:②観光産業の振興にも記載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風アレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンプラリー等の誘客関連の取り組みを行い、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳:オープニングイベント250千円、観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等)565千円、イベントPR費用600千円、事務費50千円 計1,465千円 上記に対する補助金額1,250千円	1,250	実施店舗、メニュー決定を行い、チラシ作成・配布済。 7月1日のメフラパーティを皮切りに19店舗で、オリジナルメニュー23種を提供した。 レイクアクティブプランでは、新たにウォーターリングを取り入れた。	1,250	①新メニュー提供店舗数:18店舗(38%増) ②新メニュー提供数:3,500食(5%増)	92%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①イベント取組事業者は目標を超える19店舗が参加した。 ②メニュー提供数は2,723食と目標の3,500食には及ばなかった。 達成率 ①19/18=105% ②2,723/3500=78% (105%+78%)/2=92%	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
37 ふるさと名物応援事業	国の補助金を活用した事業者が、本格的にふるさと名物関連商品の販売を開始する。国の補助対象とならなかった事業を町として支援し、ふるさと名物のさらなる普及に努める。	170	<ul style="list-style-type: none"> ■国補助金の交付決定を受け、広報物制作などの補助事業を行った。 ■国補助金の対象外事業に関して、町補助金を交付した(株式会社プレマスペース=ウオーキングプランプランチラシ作成、有限会社望湖楼=ウオーキング動画制作)。 	91	4事業者のフォローと既存制度による支援	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 交付決定を受けた国補助金事業に取り組んでいる。	産業振興課
38 環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に戻すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を目指す。対象事業費3,242千円(委託料:生ごみリサイクル活用事業) ○全体事業費 14,061千円 報償費 1,500千円 役務費 28千円 委託料 12,433千円 補助金 100千円	3,242	<ul style="list-style-type: none"> ・5月号町報で生ごみリサイクル及び東郷支所での液体肥料の無料配布についてPR。新たに泊支所でサンプルの無料配布を実施。羽合庁舎での無料配布用タンクの設置に向けて検討を行った。 ・人権の花運動と連携し、町内各小学校へ液体肥料を配布。また、町内こども園にも液体肥料を配布し、菜園活動で利用してもらい、園の広報や子どもたちを通じて各家庭にも広めてもらうよう取り組んだ。 ・7月に各区へ生ごみ協力依頼通知を発送。いくつか問い合わせがあったが、特に進展なし。 ・12月漆原区より取りやめの報告があった。 ・泊支所に液肥をペットボトルで配布した。 ・3月ほうれん草部会で生ゴミ液肥(+竹粉)のPRを行ったところ、多数の試験栽培の協力を得られた。 	3,240	生ごみ回収協力区の拡大 H28末 11区 ⇒ H29末 12区以上	0%	【評価:D 計画より遅れている】 H29末 10区 生ごみ回収協力区については、事情により減ってしまったが、引き続き出前講座でのPRや個別に区長等に協力を求めていきたい。 液肥の普及について、農業関係者へPRし、販路拡大へとつなげたい。 達成率 0/1=0%	町民課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
39 看護師、保育士奨学金助成事業 (ふるさと奨学金支援助成事業) 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。	630	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者で湯梨浜町在住の方について、県と連携をとりながら申請を進めている。現在数名の申請が出ており、今後もよく連携を図りながら取り組んでいきたい。 H28 1名(H29に取消) H29 2名	45	申請者6人	33%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県と連携をとりながら進めた結果、数名の申請が出された。	教育総務課
40 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金 【Ⅰ:③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。	615	町報での制度紹介やチラシ設置を行い、相談が2件あったが、現時点で申請なし。	0	新規申請:2件	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 商工会と連携して進めていく。	産業振興課
41 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 新たに町内在住者が町内の事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり200千円(新卒者は300千円)。	1,200	■新規で1人分の雇用促進計画を認定した(認定の日から6カ月後に交付申請が可能となる)。	0	新規雇用者:6人	16%	【評価:D 計画より遅れている】 奨励金の問い合わせが数件あったものの目標数には及ばなかった。	産業振興課
42 雇用促進奨励金事業②	・県中部雇用促進奨励金事業 新たに町内在住者が中部圏域内の県企業立地事業補助金の対象となった事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり300千円。中部圏域市町が連携して取り組む事業(各市町で補助要綱作成)。	1,500	平成28年度から操業開始し町内在住者5名を雇用した事業所(倉吉市内)に補助金を交付した。	1,500	新規雇用者:5人	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 今年度の奨励金は予定どおり交付した。今後も中部圏域の市町と連携して進めていく。 達成率 5/5=100%	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
43 就職関連情報提供事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する県制度の活用を進める。	0	県外都市圏の若者が一定期間県内に滞在し、働きながら暮らしを体感し移住定住に繋げる「鳥取暮らしワーキングホリデー」など県事業と連携し情報提供を進めている。 また、学生等若者のUターン就職先となる中部圏域市町が連携して県商工会連合会、産業支援センターと情報提供や相談対応の体制について協議を行った。	0	町内へのUターンや定住を図るため、県制度を活用して情報提供を行う。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県制度の活用について情報提供を進めている。またその他連携した情報提供、相談受入れ体制が組めるよう関係機関と協議を進めている。	産業振興課
44 中部圏域への企業誘致推進事業 (広域連携)	圏域の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、関西事務所などを活用して情報提供を行う。	0	既存パンフレットなどにより情報提供を行っている。	0	中部圏域で情報提供している町内工業団地への企業進出数 1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 中部圏域で合同作成のパンフの内容更新が必要である。	産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
45 家庭子育て支援事業	低年齢児(満1歳6カ月未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満1歳6カ月に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。乳幼児1人につき1月30,000円。	24,225	昨年度からの継続支給対象者へは個別の案内を送り、手続き漏れのないよう、周知を行った。妊娠届、新生児訪問時に制度の説明を行い、申請時期の周知に努めた。 H29支給決定:130件	22,849	年度末時点で1歳6か月未満児の家庭での子育て率を86.4%以上とする。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 平成30年3月31現在、1歳6か月未満児の数は206人。内入園児数27人。差引人数(未就園児)179人。家庭で子育てする率86.9%。 達成率 86.9/86.4=100%	子育て支援課
46 多子世帯保育料軽減事業	平成29年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償 第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。 年収360万円以上の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減	0	平成29年度第3子以降児出生数35件。	0	第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	117%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 平成29年度第3子以降児出生数35件。 達成率 35/30=117%	子育て支援課
47 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業(第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。(H28年度から卒業祝い金支給実施) 見込み 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550,000円 小学校入学時 30,000円 × 23名 = 690,000円 中学校卒業時 30,000円 × 26名 = 780,000円	3,317	H29年度小学校入学祝い金 20件 600,000円 H29年度出産祝い金 35件 1,750,000円 H29年度中学校卒業祝い金 27件 810,000円 【参考】出産祝い金支給件数 H25年度 39件 H26年度 27件 H27年度 26件 H28年度 29件 H29年度 35件	3,160	第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	117%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 平成29年度第3子以降児出生数35件。 達成率 35/30=117%	子育て支援課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
48 子育て世代包括支援センターの整備①	<p>・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目ない支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。</p>	111	<p>子育てプランは全員に提供できている。 特に必要な方への子育て応援プラン提供のルール化、関係機関協議のあり方等確立が遅れている。子育て応援プランは、妊娠届時、新生児訪問時のリスクアセスメントシートでチェックし、必要と判断した要支援妊産婦に提供する。 ・子育てプラン： 753人。これまで対象となる人へは全員配布(100%) ・子育て応援プラン対象12人。作成済み11人(91.6%) ・子育て支援センターとの情報共有3回(60%) ・産科医療機関との会2回(100%)</p>	110	<p>○子育てプラン配布：妊娠届時全員、乳幼児健診受診者：5月以降全員 ○子育て応援プラン作成：妊娠届時必要と判断した人：6月以降全員(15人程度) ○町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の会：年5回 ○産科医療機関との会：1回</p>	88%	<p>【評価：D 計画より遅れている】 子育てプランは全員に提供できている。 特に必要な方への子育て応援プラン提供のルール化については医療機関、中部市町と協議を行い、ルール化を整備している。関係機関協議のあり方等確立については、子育て支援センター、総合福祉課と連絡会の有り方を調整している。 達成率 ・子育てプラン： 753人全員へ配布(100%) ・子育て応援プラン対象12人のうち作成済み11人(91.6%) ・子育て支援センターとの情報共有 3回/5回(60%) ・産科医療機関との会2回(100%) (100+91.6+60+100)/4≒88%</p>	子育て支援課
49 子育て世代包括支援センターの整備②	<p>・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用者からの相談に対応する。</p>	1,064	<p>事業実施のための要綱整備が遅れたが、要綱策定ができ、7月より稼働中。妊婦訪問、産婦訪問を行っている。 実利用者数 アウトリーチ型年間見込年30件に対し、8件実施。 デイサービス型については妊産婦訪問件数を伸ばし、関係構築を図りながらニーズに合わせて実施準備を行い、子育て世代包括支援センター相談室を使用する「初めての子育てコース」と、子育て支援センターで行う「みんなで子育てコース」のモデル実施を行い、次年度に定期開催を行う準備を行うことが出来た。 デイサービス型：年6回目標のうち、2回実施。</p>	1,062	<p>アウトリーチ型：年30件 デイサービス型：年6回</p>	30%	<p>【評価：D 計画より遅れている】 事業実施のための要綱整備が遅れたため、事業実施も遅れたが、年度内に2回行い、次年度は年度当初より計画的に実施する基盤と出来た。 達成率 アウトリーチ型 8/30=27% デイサービス型 2/6=33% (27+33)/2=30%</p>	子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
50 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	<p>・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘルパー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により虐待の未然防止も図る。</p> <p>【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ細かい支援を行う。</p> <p>【デイサービス型】 日中来所した者に対し、個別又は集団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。</p> <p>・母子来所 ・乳児一時預かり</p> <p>【訪問型】 産婦の状態を把握し、必要と思われる家庭に助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行う。</p>	242	<p>事業実施のための要綱整備が遅れたが、H29.7月に整備でき、産科医療機関(打吹公園クリニック)との契約も行うことが出来た。</p> <p>訪問型:要綱策定ができ、7月より事業スタート。必要な産婦についてはプラン作成し、訪問を行った。利用実1件。</p> <p>宿泊型・デイサービス型:打吹公園クリニックと委託契約し、8月より事業スタート。必要な産婦についてはプランを作成し、利用に繋げることができた。</p> <p>利用実績6件。</p> <p>鳥取県立厚生病院が年度中にデイサービス型実施を検討したいとの意向があるため、協議を行っていく。</p>	157	<p>訪問型:10件 宿泊型:2件 デイサービス型:2件</p>	80%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 事業実施のための要綱整備が遅れたため、事業実施も遅れたが、7月以降、必要な産婦へは情報提供を行い、利用に繋げることが出来た。今後も引き続き必要な産婦が利用できるようにPRを強化したい。</p> <p>達成率 訪問型 1/10=10% 宿泊型・デイサービス型 6/4=150% (10+150)/2=80%</p>	子育て支援課
51 不妊治療 費助成事 業	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。</p> <p>【治療の種類】</p> <p>・特定不妊治療費 見込み25件 2,231,250円 ・人工授精費 見込み8件 52,800円 ・不育症治療費 見込み1件 50,000円</p>	841	<p>県の助成決定者が本町の助成対象となる。県での申請があった時には町の制度があることも周知していただき、1月町報で助成制度についての周知を町報で行った。例年に比して申請、相談が少なかった。</p> <p>県と県下市町の申請用紙が統一になり、申請者の負担軽減が行われた。(町要綱を改正した)</p> <p>【実績】 特定不妊治療費助成:8件 人工授精費助成:1件 不育症治療 0件</p>	821	<p>利用件数 特定不妊治療25件、人工授精8件、不育症治療1件</p>	15%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 例年より申請、相談件数が少ない。PRを強化していく。</p> <p>達成率 特定不妊治療 8/25=32% 人口受精 1/8=13% 不育症治療 0/1=0% (32+13+0)/3=15%</p>	子育て支援課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
52	ファミリーサポートセンター事業の充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。 調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。事業PR、会員の確保。 預かり体験。	2,038	依頼があっても、提供会員が見つからず、成立しないケースがあった。依頼会員の登録は増えているが、念のための登録であり、実際の利用には至らなかった。 延べ利用 150件 実利用 7件	1,981	実利用者数の増。 年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(8人×1.5=12人)	58%	【評価:D 計画より遅れている】 実利用者数年間見込12人に対し7人。いざという時の利用のための登録はあったが、実際の利用には至らなかった。 達成率 7/12=58%	子育て支援課
53	18歳年度末までの医療費助成事業	小児医療対象者への医療費の給付(現物・現金)を実施する。	53,406	・大半の受給資格者は出生、転入の手続きと併せて町民課や子育て支援課で制度案内や受付をしている。 ・転入者の多くは転入の手続き時に完了する。 ・出生者については各種健康保険証が交付されてからの手続となるため、出生してから申請まで1~3か月かかることが多い。	50,350	新規対象者(出生・転入者)のうち、90%以上の方に受給資格証を申請していた。周知に努める。	92%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ・新規対象者の対応については、計画どおりに進んでいる。 ・小児区分については、受給資格証が無い状態で受診した場合でも、医療機関から申請手続きの案内を行っているため、医療費助成は適正に実施できている。引き続き今後も周知に努める。	健康推進課
54	病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育:60人(定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 705,770円 ◆病後児保育:34人(定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 475,068円 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む)	1,181	【参考】 病児保育利用実績 H25年度 延べ34件 H26年度 延べ87件 H27年度 延べ83件 H28年度 延べ85件 H29年度 延べ109件 病後児保育利用実績 H25年度 延べ22件 H26年度 延べ27件 H27年度 延べ38件 H28年度 延べ32件 H29年度 延べ40件	0	利用者数 病児保育 60件→100件 病後児保育 34件	113%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 病児保育、病後児保育ともに前年度を上回る利用数。 達成率 病児保育 109/100=109% 病後児保育 40/34=118% 109+118=113%	子育て支援課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
55 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。	34,777	利用するかどうかわからないが、いつでも利用できるよう登録しておくという保護者もあり、登録者数は増加傾向にある。登録すると利用料がかかることも承知の上であるが、全く利用しない月が連続する場合は退級も促すことも必要。 【30.3時点】未利用者 25名、登録者数326名	34,348	利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。	92.3%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 登録はされているが全く利用されない月が連続する場合は、退級を促すことも必要である。 達成率(326-25)/326=92.3%	子育て支援課
56 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	・羽合西コミュニティ及び町内3小学校の空き教室を使用し、年間35回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後(月3回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ※国事業:『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ・報償金 1,680,000円 ・消耗品費 92,000円 ・保険料 83,000円	1,855	各教室に必要な指導者の数が確保でき、スタートすることができた。また、各教室で学校と指導者の方との打ち合わせができ、共通理解できた。児童の人数もほぼ定員を満たす人数となった。 補充プリントが必要な時には、適宜準備することに努めた。 【3月末の児童数と開催回数】 羽合西コミュ 19人 94回 羽合小学校 21人 29回 泊小学校 13人 29回 東郷小学校 25人 31回 合計 78人	1,737	運営委員会を開催し、各小学校等で子ども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 児童数70名とする。	111%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 事業内容としては計画通り進んでいるが、運営委員会を開催することができなかった。人数はほぼ目標定員を満たす人数となった。指導員との連携に努め、引き続き児童の学習状況を見守っていく。 達成率 78/70=111%	教育総務課
57 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかにはぐまれる環境づくりを推進する。 羽合地域(長瀬、東田後)、東郷地域(舎人、大介)、泊地域(泊)の5放課後子ども教室を実施する。	1,765	4月から、泊地域(泊)を除く4教室について、地域の方、ボランティアサークルの協力を得ながら実施している。体験活動や交流などの事業も取り入れ、平日の放課後や週末等、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)作りに努めた。 4教室合計 ・回数172回 ・児童参加人数2,805名 ・ボランティア延人数258名 ・指導者延人数624名	1,749	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)作り。 年間参加児童数3,800名以上とする。	117%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 各教室を開催し、放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を提供している。 実施教室が1か所減となったが、いずれの教室も実施回数、参加者数が前年度を上回り、目標達成した。 達成率 2,805/2,400=117%	生涯学習・人権推進課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
58	SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブックを立ち上げる。	0	情報発信については、各課共通して充実していく必要がある。課単独の取り組みではなく町としてどう取り組むか協議が必要。フェイスブックの立ち上げを想定しているが、ルール化等ないままには取り組みが進まない状況にある。 企画課確認 アカウントの取り方、決裁について自己責任で実施。	0	フェイスブックによる情報発信	0%	【評価:D 計画より遅れている】 課としては、子育て支援センターの内容に限定して試作作成してみたが、全体協議を経てからの運用に持っていきたいとしていたが、単独で実施することとした。 アカウントの取得について決裁をとり、アップしていく予定。	子育て支援課
59	ゆりはま自主学習の広場事業(ゆりはま地域未来塾)	在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の下校後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に学習習慣の定着を目指すものであり、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国事業:『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ・報奨金 221,000円 ・消耗品費 197,000円 ・通信運搬費 3,000円 ・保険料 29,000円	450	4月から教育活動支援員の登録及び参加生徒の募集を行った。4月下旬には両中学校校区で教育活動支援員連絡会を持ち、活動のねらい、支援の在り方等について共有認識をもった。未来塾のスタートは5月からで、両校とも1名の生徒の参加であったが、回を重ねるごとに口コミ等で広まっていき、東郷中6名、北溟中18名の生徒の参加があった。教育活動支援員も両中学校区各6名で、東郷中学校区には学生ボランティアも1名参加した。参加生徒アンケートの結果によると、事業内容について、参加者すべてが肯定的な評価であった。 ★生徒参加率(両中学とも20%を想定) 東郷中 32名中6名(約19%) 北溟中 86名中18名(約21%)	373	運営委員会を開催し、各中学校で未来塾を実施し、学習習慣の定着を図る。生徒数25名とする。	96%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 両中学校区とも運営委員会を計画どおり開催し、共通理解のもと、生徒の支援に当たることができた。両中学校地ともほぼ目標想定人数を集めることもできた。参加生徒のアンケート結果によれば、学習習慣の定着が図れたなど、肯定的評価が多かった。 達成率 24/25=96%	教育総務課
60	学校支援ボランティア事業の推進	・各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 ・ボランティア保険料 62,000円 ・また、自校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対し、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。	62	各学校からの学校支援ボランティア名簿の提出を受け、町内全小・中学校において、ボランティア保険への登録手続きを行った。登録数156人 各学校で、登下校の見守り、除草作業や運動会時の駐車場係、駐車場の白線引きなどの活動が行われたが、学校を越えての活動は見られなかった。	55	各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 小中学校で150名登録。	104%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 登録者数は目標数値に到達しているが、新たな登録がほとんどなかった。コミュニティ・スクール導入に伴い、新規登録者を開拓していきたい。 達成率 156/150=104%	教育総務課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
61 ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組みを拡充する。各小・中学校独自の取組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。【羽合小学校】総合的な学習(文化伝承、環境教育、平和学習)48,500円【東郷小学校】総合的な学習(梨づくり、東郷池体験活動、平和学習)環境教育(サケ飼育)42,000円【泊小学校】体験活動(エンジョイフィッシング、泊貝がら節伝承、GG体験)総合的な学習(梨づくり、ワカメ栽培)食育64,000円【北浜中学校】湯梨浜調べ、ふるさと野外活動(GG体験)、地元の食を学ぶ60,000円【東郷中学校】湯梨浜調べ、文化の伝承、地域貢献80,000円	295	各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種補助事業等実施している。昨年度は、実施できなかったアンケートは今年度2回実施。(H28未実施だったため) (2月実施結果) ・将来湯梨浜に住みたい 47.8% ・地域や湯梨浜が好き 79.7% ・地域の行事に参加している 77.0% (アンケートの対象) ・小学校3年生～6年生 ・中学校1年生～3年生	287	各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。アンケート目標70%以上。	68%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 各学校へ補助金も交付し、事業も順調に進んでいる。アンケートを実施。目標値に届くよう、事業実施を行う。	教育総務課
62 小学校社会科副読本作成事業	編集委員会の開催(小学校社会科教諭等)2回開催予定 報償金2,400円×5名×2回=24,000円	24	社会科副読本編集委員会を3回開催し、各校の編集委員で役割分担をした。 ・地図 ・防災 ・水 ・郷土の発展に尽くした人 平成30年4月に小学校3年生社会科白地図プリント集を配布するため、3月に作成した。この白地図を活用後改善点を見直し、副読本へ掲載する。	0	編集委員を委嘱し、委員会を開催。平成29年度出版を目指す。	60%	【評価:D 計画より遅れている】 当初の予定よりやや遅れているが、事業実施に向けて、編集委員会を3回開催した。平成30年4月に小学校3年生社会科白地図プリント集を配布した。	教育総務課
63 ワーク・ライフ・バランスセミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナー開催する。 ◆報償費27千円 ◆需用費 10千円 ◆セミナー委託費 324千円 ◆企業応援奨励金 140千円	501	□関係課等(産業振興課、子育て支援課、町男女共同参画推進会議)と協議し、一般町民対象のセミナーをH30.2.25、町内企業経営者等を対象にセミナーをH30.3.28に実施した。 □平成27年に実施したセミナーをきっかけに申請された鳥取県男女共同参画推進企業の新規認定1社。 □男女共同参画企業応援奨励金については、実績なし。 ◆報償費17千円 ◆セミナー委託費 300千円	317	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:16社(14%増)	94%	【評価:D 計画より遅れている】 ・認定企業数15社(15/16社) ・一般町民対象及び企業対象のセミナーを実施した。今後は、企業応援奨励金のPRしながら、さらなる認定企業の増加を目指して取り組んでいきたい。 達成率 15/16≒94%	企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
64 介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)養成事業	介護予防・健康づくりリーダーの養成を着実に実施していくとともにリーダー実習を支援して自主的活動展開へとつなげる。 ・講座講師報償金 82千円 ・実習参加謝礼 46千円 ・講座テキスト代 50千円 ・消耗品の購入、郵券料 57千円	235	計画どおりに進んでいる。 ★養成講座応募者:20人 ・第1回養成講座参加者:17人(3人欠席) ・家庭事情により辞退:1人(実質欠席2人) ※欠席者2人の補講は7月3日に実施済み ・第2回養成講座参加者:16人(3人欠席) ※欠席者3人の補講は8月8日に実施済み ・第3回養成講座参加者:19人全員参加 ・第4回養成講座参加者:17人(2人欠席) ※欠席者2人補講10月5日と11月12日に実施済み ・第5回養成講座参加者:15人(4人欠席) ・勤務開始により辞退:1人(実質欠席3人) ※欠席者2人補講11月2日と12月7日に実施済み ・第6回養成講座参加者:14人(4人欠席) ※欠席者3人補講は12月7日に実施済み ・第7回養成講座参加者:15人(3人欠席) ※欠席者2人の補講は1月11日に実施済み ・第8回養成講座参加者:16人(2人欠席) ※欠席者1人の補講は2月8日に実施済み ・第9回養成講座参加者:14人(4人欠席) ※欠席者3人の補講は3月9日に実施済み ・第10回養成講座参加者:16人(2人欠席) ※欠席者1人の補講は3月13日に実施済み ※欠席者1人は第5回~10回まで連絡なく欠席 続き協議の結果、来年度の欠席回を受講することで合意した。 ◎結果、最終的に17人が修了し認定証を交付。 達成率:17人/20人(85.0%) ★第2期生の活動(1人2回以上)に対する達成者:22人/23人(95.7%) 累計:延132人 ★第1期生の活動(1人1回以上)に対する達成者:18人/20人(90.0%) 累計:延289人	220	介護予防・健康増進リーダー養成者数:20人 実習参加(2期生):1人2回以上 サロン実施(1期生):1人1回以上	90%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 養成講座については、応募のあった20人に対して、辞退者1人、勤務開始による辞退者1人、複数回欠席で補講不可の者1人の計3人の辞退により最終的に17人の修了、認定証交付となった。3か年目標60人に対して60人の養成となり現在100%の進捗となっている。(欠席者に対しては補講を実施した。) 第1期生、第2期生の活動が達成できるよう継続的支援を行ったが、結果的には3人の未達成者があった。 達成率:17人/20人(85.0%) ★第2期生の活動(1人2回以上)に対する達成者:22人/23人(95.7%) 累計:延132人 ★第1期生の活動(1人1回以上)に対する達成者:18人/20人(90.0%) 累計:延289人	長寿福祉課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
65 歯・口の健康づくり推進事業	町が実施主体となり、小学校、学校歯科医師等の関係者と連携を図りながら実施していく。	1,228	町内3小学校で同意確認集約後、5月17日から各小学校で順次洗口実施を開始した。3小学校の実施率については以下の通り。東郷小学校の実施率が上昇した。 ・泊小学校 94.3% (H28年度 98.1%) ・東郷小学校 98.3%↑ (H28年度 97.1%) ・羽合小学校 95.5% (H28年度 96.2%) 9月19日、中学校でのフッ化物洗口導入についての意向のヒアリングのため町内2中学校へ訪問。実施に向けての環境整備を検討した。 10月26日中学校でのフッ化物洗口導入について教育総務課と健康推進課で協議。11月8日には、町内中学校も含めフッ化物洗口導入に向けての詳細を協議した。	561	各小学校の全学年でフッ化物洗口を実施する。	100%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 引き続き、定期的な実施現場の確認と各小学校との連携をとり効果的な実施をしていく。 達成率 3/3=100%	健康推進課
66 健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) 年間計画に沿って実施(週2回 年75回)	312	教室の開催も計画どおり実施できた。参加人数については、目標数を倍以上となり、広報紙等の事業PRにより浸透したものと思われる。	296	教室参加人数を1,250人以上	222%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 参加者の年齢層は、例年8割強程度が65歳以上であり、高齢者でも手軽に利用できる健康増進事業として定着している。 4月:203人、5月:238人 6月:337人、7月:268人 8月:48人、9月:267人 10月:257人、11月:258人 12月:219人、1月:221人 2月:254人、3月:205人 年間合計:2,775人 達成率 2,775/1,250=222%	健康推進課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
67 健康相談・健康教室等の実施②	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 積立貯筋運動教室 町内の体育施設を利用して、健康体操を中心に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。	1,214	申込は各教室とも定員20名に達していたが、参加となると都合がつかない方もあり、欠席される方が多く見られた。	941	教室参加者数 平均15名以上	73%	【評価：D 計画より遅れている】 ○つみたて貯筋運動（とまり教室）平均12人/回 （はわい教室）平均9.2人/回 ○ココカラ運動教室 13.1人/回 ○やさしいヨガ教室 9.6人/回 各教室平均 11.0人 達成率 11/15=73% 参加者の都合等もあり、目標に達しなかった。	健康推進課
68 健康相談・健康教室等の実施③	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 ウォーキングと温泉を利用した健康+観光推進事業 ウォーキングと温泉を活用した運動プログラムを周知することにより、実践につなげ町民の健康づくりにつなげる。	175	チラシ4700枚、冊子100冊作成、町内温泉14か所、ウォーキングステーション（龍鳳閣・caféippo、あやめ池スポセン、観光案内所）に配布	77	運動効果の周知により、ノルディックウォーク教室の参加者を前年比110%とする。	90%	【評価：D 計画より遅れている】 ○ノルディックウォーク参加者（月別教室参加者延人数） H28年度実績 90人 H29年度実績 89人 ※前年比 98% 達成率 89/(90×1.1)=90% 事業は計画どおり実施したが、目標未到達となった。来年度は広報に工夫が必要。	健康推進課
69 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ・「まちの保健室」等事業にかかる報償金 122千円 ・地区での健康教室に係る消耗品 94千円	216	4月10日に、今年度のまちの保健室（モデル地区2地区）の実施内容について、看護大学、まちづくり協力隊、健康推進課で協議した。 新川地区については5月20日に、区長、区役員と協議し11月18日（参加者15名）、H30年2月3日（参加者23名）に鳥取看護大学と連携し実施。2月中旬にまちの保健室通信（2月3日の報告及び検診受診勧奨）を発行。 平成29年度からスタートする松崎地区については、8月27日に、松崎地区区長会において、まちの保健室について取り組みの合意を得た。鳥取看護大学と連携し10月8日には三八市で開催（参加者45名）3月10日には中央公民館で、食改と連携し減塩味噌汁の試飲等実施（参加者43名）	8	モデル地区2地区選定。 まちの保健室の開催	100%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 看護大学、まちづくり協力隊、みらい創造室他関係課と連携を密にし効率的な実施を目指す。 達成率 2/2=100%	健康推進課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
70 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進①【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】※当初予算計上・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進)28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。生涯活躍のまち推進事業29,895千円、委託費 28,863千円、移住体験ツアー「卓球」を通じた移住促進事業2,000千円、総合相談センター、まちの保健室システム構築600千円、4ha土地の全体計画、4ha土地におけるサ高住の事業計画・基本構想22,300千円、松崎商店街の再生事業1,300千円、関西圏におけるニーズ調査 2,600千円、松崎駅前多世代交流拠点賃借料221千円</p>	17,989	<p>■5月31日に、29年度推進交付金の変更交付決定がなされ、委託契約に向け内容の検討など調整を行った。 ■6月2日に第1回(仮称)4ha基本計画策定プロジェクト・チーム会議を開催し、平成29年度中に10回行った。8月には4ha土地全体基本計画策定業務・関西圏におけるニーズ調査業務を委託し、拠点整備計画の仕様検討を行った。また、1月にはサ高住事業計画業務を委託し、サ高住の事業成立性等について検討を進めた。 ■7月24日には松崎駅前施設の設計監理業務を委託し、今年度末の完成を目指して拠点整備を進めた。12月には総合相談センター・お試し住宅整備工事、1月には多世代地域交流拠点施設改修工事(第1期)に着工し、3月末に完成。お試し住宅は、旅館業法による簡易宿泊所営業の許可を受けた。総合相談センター及びゆりはま暮らしお試し住宅は、湯梨浜まちづくり会社を指定管理者とし、運営を委託した。併せて、12月から松崎商店街再生のためのブランディング計画策定業務を委託し、景観資源や生産物資源を調査し、計画を策定した。 ■8月に「卓球」を通じた移住促進事業業務を委託し、9月1日の「まちおこしイベント卓球」の開催を含め、関東圏での湯梨浜町PR活動を行った。 ■11月27日～28日に「生涯活躍のまち移住体験ツアー」を実施。14名が参加した。</p>	17,601	<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>	47%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 CCRCに参画する事業者・団体数は、今年度に入ってから増加していないが、今年度予定していた委託業務等はほぼ計画どおり実施できた。駅前多世代地域交流拠点の改修工事については、今年度終了しなかったため、翌年度2期工事を発注予定。</p> <p>達成率 ①189/200=95% ②0/1=0% (95+0)/2=47%</p>	みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
71 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進② 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊5名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(5名) 19,960千円</p>	16,544	<p>■毎月1回まちづくり会社事業進捗会議を開催。まちづくり会社の事業運営について協議を行っている。 ■5月27日に松崎地区で開催された軽トラ市の運営に協力し、まちの賑わいづくりに尽力した。 ■町からふるさと納税業務を受託し、寄付額向上に向けて業務を行っている。 ■協力隊員3名が、それぞれ9月末、12月末、3月末をもって退任。2名を追加募集したが、平成29年度中は応募がなかった。</p>	311	<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>	47%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 CCRCに参画する事業者・団体数は、今年度に入ってからは増加していない。協力隊は、平成29年度当初5名の隊員がいたが、うち3名が退任し、平成29年度末時点では2名のみとなった。引き続き募集を行い、協力隊の確保に努めていく。 達成率 ①189/200=95% ②0/1=0% (95+0)/2=47%</p>	みらい創造室
72 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④ 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】※当初予算計上 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ・「まちの保健室」等事業にかかる報償金 122千円 ・地区での健康教室に係る消耗品 94千円</p>	216	<p>4月10日に、今年度のまちの保健室(モデル地区2地区)の実施内容について、看護大学、地域おこし協力隊、健康推進課で協議した。 新川地区については5月20日に、区長、区役員と協議し11月18日(参加者15名)、H30年2月3日(参加者23名)に鳥取看護大学と連携し実施。2月中旬にまちの保健室通信(2月3日の報告及び検診受診勧奨)を発行。 平成29年度からスタートする松崎地区については、8月27日に、松崎地区区長会において、まちの保健室について取り組みの合意を得た。鳥取看護大学と連携し10月8日には三八市で開催(参加者45名)3月10日には中央公民館で、食改と連携し減塩味噌汁の試飲等実施(参加者43名)</p>	8	<p>モデル地区2地区選定。 まちの保健室の開催</p>	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 看護大学、地域おこし協力隊、みらい創造室他関係課と連携を密にし効率的な実施を目指す。 達成率 2/2=100%</p>	健康推進課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
73 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑤ 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】※6月補正予算計上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの確立に向けた取組 <p>H28年度に策定した「生涯活躍のまち地域包括ケア計画」を踏まえ、地域包括ケアシステムにおける相談体制強化を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの確立に向けた取組 <p>委託費 0千円(6月補正予算にて5,000千円計上し、12月補正予算で皆減)</p>	0	<ul style="list-style-type: none"> ・補正予算編成の過程でシステム導入でなく、他の方法での事業検討を行っていくこととなった。 ・5/24に関係課で「総合相談センターに関する内部協議」が開催され、各課の現状を話し合った。 ・7/18に「ゆりはま未来づくり本部会議」が開催され、問題点等話し合った。 ・8/9、9/8に関係課で「総合相談センターに関する内部協議」が開催され、センターの活用について話し合ったが、相談体制の協議には至らなかった。 ・現在のところ、事業内容の決定には至っていない。 ・12/11に「総合相談センター」のあり方について関係課で協議したが、結論は出なかった。 ・相談・支援体制の強化を図るため、マンパワーの活用やICT(情報通信技術)の活用等も含め、効果的な相談・支援体制の方策について検討したが、①現状では地域包括支援センターで町民の来庁や電話等による相談を受け、個別訪問により相談への対応をきめ細やかに行っていること、②システム導入等については導入した場合のランニングコストや将来の更新費用等の経費、システム活用に対する疑義、マンパワーの不足等の課題があることなどから、システム導入を行わず引き続き現状での対応を行っていく方が良いとの結論に至った。 	0	相談窓口システムの構築・運用	100%	【評価：A 達成済、事業完了】 相談・支援体制の強化を図るため、マンパワーの活用やICT(情報通信技術)の活用等も含め、効果的な相談・支援体制の方策を検討してきたが、引き続き現状の地域包括支援センターで町民の来庁や電話等による相談を受け、個別訪問により相談への対応をきめ細やかに行っていくこととした。	長寿福祉課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
74 縁結び支縁員事業	<p>晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。</p> <p>◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金 46千円 ◆婚姻成立時報償金 30千円</p>	76	<p>■縁結び支縁員新規募集について、町報等により広報(7/7~8/25)したが、応募がなかった。登録済支縁員への広域連携婚活イベントの情報提供、集客依頼を行った。</p> <p>◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金 12千円</p>	12	縁結び支縁員事業等により婚姻した件数:年1件	0%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>■現在までの縁結び支縁員の仲立ちによる婚姻成立実績はない。</p>	企画課
75 婚活イベント事業(広域連携)	<p>中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。</p> <p>※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円</p>	200	<p>■広域連携による婚活イベント(イベント・セミナー)について、今年度は公募型プロポーザル方式で実施。</p> <p>■8/10~31公募を実施。参加申込のあった2社(㈱サテライトコミュニケーションズネットワーク、サキュート㈱)について、9/12選定委員会において、プレゼン、審査を実施。</p> <p>■審査の結果、㈱サテライトコミュニケーションズネットワークを優秀提案者として決定。</p> <p>■9月、優秀提案者と婚活業務委託契約を締結。</p> <p>■11/5婚活セミナー及びイベント(カフェ交流会)を実施。12/3に支援者向けセミナー、12/10にイベント(バスツアー)を実施。</p>	200	平成29年度に広域連携による婚活イベントを実施。パーティー型イベント:2回 婚活セミナー:3回	80%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>■概ね実施計画通りに進んだものの、イベント・セミナーの実施回数についてみれば、目標に達しなかった。</p> <p>達成率 イベント・セミナー 4/5=80%</p>	企画課
76 中学校統合に伴う北浜中学校及び東郷中学校の跡地利用計画の策定等	<p>中学校統合等による跡地施設の有効利用を図るため、有効な利用方法を検討するための委員会を開催し、実施に向けた調整を行う。</p> <p>◆委員報償金 77千円 ◆消耗品費 10千円 ◆通信運搬費 8千円</p> <p>【湯梨浜町学校跡地施設等利用検討委員会設置要綱】 【委員会】 □委員20人以内 【組織】 ①学識経験のある者又は住民活動を行う者 ②町議会の議員 ③町の職員 ④公募による者 【委員任期】 □2年</p>	95	<p>■検討委員会委員の選定(案)について、協議・検討を実施。</p> <p>■広報7月号で公募委員の募集(~7月20日まで)したが、応募者なし。</p> <p>■会議計画(案)[検討の進め方のイメージ、検討委員会検討内容、スケジュール]を作成、協議準備中。</p> <p>■県立地戦略課へ企業誘致の立場で委員会に参画いただくよう依頼、協議し、了承を得た。</p> <p>■3/29有識者(県産業振興機構理事長、県産業振興課長、山陰合同銀行並びに鳥取銀行の地方創生担当者)との意見交換会を開催し、検討委員会の今後の進め方等のアドバイスを頂いた。</p>	0	中学校ごとの検討案を報告する。	0%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>今後、会議開催に向けた協議を行うとともに、委員の選定、委嘱を行い、学校跡地施設の有効利用へ向けた検討委員会を開催する。</p>	企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課												
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価													
77 IJUターン促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。 《H29予算額》 322千円(旅費252千円、需用費30千円、役務費40千円)	322	<ul style="list-style-type: none"> ■5月20日鳥取来楽暮へ出展(相談6組) ■6月11日鳥取県IJUターンBIG相談会in東京へ出展を行い相談6組を受けた。 ■6月18日鳥取県IJUターンBIG相談会in大阪へ出展を行い相談10組を受けた。 ■7月22日休日相談会へ出展(相談2組) ■8月19日鳥取来楽暮へ出展(相談1組) ■8月19日休日相談会へ出展(相談1組) ■9月16日ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー東京を開催し、29名の参加があった。 ■9月24日ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー大阪を開催し、27名の参加があった。 ■10月14日～15日ゆうゆう移住体験ツアーを実施し、5名の参加があった。 ■11月27日～28日ゆりはま暮らし体験ツアーを実施し、14名の参加があった。 ■1月14日住む働く鳥取県移住フェアin東京へ出展を行い相談12組を受けた。 ■3月3日住む働く鳥取県移住フェアin大阪へ出展を行い相談11組を受けた。 ■現在、4組の移住について相談を継続している。 	233	移住について具体的な相談に入っている者数:5人	80%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 計画通り相談会に出展し、具体的な相談も受けている。 達成率 4/5=80%	みらい創造室												
78 空き家情報バンク活用促進事業	空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:100千円 補助率1/2 予算:100,000円×2件=200,000円 《H29予算額》 補助金 200千円	200	<ul style="list-style-type: none"> ■各相談会で周知を実施した。 ■町報8月号、H30.1月号で周知した。 ■空き家情報バンク利用登録を全体では26件実施した。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>4月 1件</td> <td>5月 1件</td> <td>6月 1件</td> </tr> <tr> <td>7月 2件</td> <td>8月 7件</td> <td>9月 3件</td> </tr> <tr> <td>10月 3件</td> <td>11月 1件</td> <td>12月 1件</td> </tr> <tr> <td>1月 3件</td> <td>2月 1件</td> <td>3月 2件</td> </tr> </table> <p>(県外17件、県内・町外6件、町内3件)</p>	4月 1件	5月 1件	6月 1件	7月 2件	8月 7件	9月 3件	10月 3件	11月 1件	12月 1件	1月 3件	2月 1件	3月 2件	0	町外(県内)からの空き家バンク利用者数:5件	120%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 順調に進捗し、目標を達成できた。 達成率 6/5=120%	みらい創造室
4月 1件	5月 1件	6月 1件																		
7月 2件	8月 7件	9月 3件																		
10月 3件	11月 1件	12月 1件																		
1月 3件	2月 1件	3月 2件																		

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

40

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
79 空き家対策事業	空き家改修事業補助金 移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大200千円補助する。 《H29予算額》 補助金 200千円×2件	400	<ul style="list-style-type: none"> ■各相談会で周知を実施した。 ■町報8月号、H30.1月号で周知した。 ■空き家情報バンク空き家登録を9件実施した。 4月 4件 5月 1件 6月 1件 10月 1件 1月 1件 3月 1件 ■空き家改修事業補助金について、1件交付決定済。 ■移住希望者への空き家提供を5件提供済。 	147	移住希望者へ空き家提供:2件	250%	【評価:B 計画どおりに進んでいる】 順調に空き家所有者と利用者のマッチングを行い、空き家提供も順調に進んでいる。 達成率 5/2=250%	みらい創造室
80 移住定住者住宅支援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《H29予算額》 4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	4,500	<ul style="list-style-type: none"> ■4月県「鳥取県移住定住推進交付金」の申請を行い、交付決定を受理した。 ■町報8月号で周知した。 ■各相談会で周知を実施した。 ■4月に申請を2件受け、交付決定を実施。 ■8月に申請を1件受け、交付決定を実施。 ■9月に申請を1件受け、交付決定を実施。 ■3月県「鳥取県移住定住推進交付金」の実績報告を行い、額の確定を受理した。 	3,000	県外からの転入者の定住:4件	100%	【評価:C 計画以上に進んでいる】 申請を4件受付けて、交付決定を実施しており、順調に進んだ。 達成率 4/4=100%	みらい創造室
81 移住定住者住宅支援事業②	・ゆりはま定住モデルハウス事業 土地開発公社分譲地を購入した上でモデルハウスを建築し、1年以上運営する事業者(ハウスメーカー等)に対して、補助金を交付することで、本町への移住定住と分譲販売の促進を図る。 (H29は計画認定のみ。債務負担行為設定済) ◆報償費 5千円 ◆通信運搬費 2千円	7	6/5に要綱制定(告示)し、6月末に制度案内をHPに掲載した。PRのためのチラシも制作したほか、ハウスメーカー等にも直接紹介した。 制度の利用実績は1件もなかった	0	モデルハウス補助金計画認定1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 H30も引き続きPRを行っていく。	企画課
82 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 85千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊) 173千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 6千円	290	<ul style="list-style-type: none"> ■29年度の参加者は9名(大阪府、東京都、千葉県、沖縄県、神奈川県、兵庫県) ■県外相談会等の機会を捉え、引き続き周知に努めた。 ◆ボランティア受入報償金 43千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)18泊 97千円 	140	ボランティア従事者:20名	45%	【評価:D 計画より遅れている】 ■広報、PR活動などについては、概ね計画的に進んでいるが、目標参加者数に届かなかった。体験メニューの充実などを図っていきたい。 達成率 9/20=45%	企画課

40

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
83 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×58件 29,000千円 新築・購入(土地開発公社) 1件 1,000千円 合計 59件、30,000千円	30,000	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページ更新、町報掲載及び各相談会で周知を図った。 ■町報8月号、H30.1月号で周知した。 ■8月30日に住宅金融支援機構と【フラット35】子育て支援型に関して協定を締結した。あわせて、町ホームページに交換式の開催を掲載した。 ■H29交付決定:52件(うち土地開発公社分譲地1件) 	25,930	若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:59件	88%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 順調に交付を実施している。 達成率 52/59=88%	みらい創造室
84 三世帯同居世帯等支援事業	三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×10件 5,000千円	5,000	<ul style="list-style-type: none"> ■HP更新、各相談会で周知を実施した。 ■町報8月号、H30.1月号で周知した。 ■8月30日に住宅金融支援機構と【フラット35】子育て支援型に関して協定を締結した。あわせて、町ホームページに交換式の開催を掲載した。 <p>H28交付決定分:2件 5月:1件 7月:1件</p>	2,000	新たな三世帯家族の定住:10件	40%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 順調に交付を実施した。	みらい創造室
85 移住者運転免許証取得支援事業	県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3件 450千円	450	<ul style="list-style-type: none"> ■HP更新、各相談会で周知を実施した。 ■町報8月号、H30.1月号で周知した。 ■交付決定 7月:1件 	150	県外からの定住者の免許取得:3件	33%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 順調に交付を実施した。 達成率 1/3=33%	みらい創造室
86 住宅取得仲介報酬助成事業	中古住宅及び新築住宅用土地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×10件 1,300千円	1,300	<ul style="list-style-type: none"> ■HP更新、各相談会で周知を実施した。 ■町報8月号で周知した。 ■9件申請を受け、交付決定を実施した。 <p>6月:1件 9月:1件 10月:1件 11月:1件 12月:1件 2月:1件 3月:3件</p>	753	中古住宅及び新築住宅用土地購入による、町内への定住:10件	90%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 順調に交付を実施した。 達成率 9/10=90%	みらい創造室
87 お試し住宅運営事業	空き家を改修し、お試し住宅として活用することで、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お試し住宅を運営する。	811	<ul style="list-style-type: none"> ■5月16日に内覧会を実施した。 ■HP開設、各相談会での周知を実施した。 ■3件の利用を受けている。 	521	お試し住宅利用件数:12件	25%	【評価:D 計画より遅れている】 周知を実施しているが、利用が少ない状況だった。 達成率 3/12=25%	みらい創造室

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
88 〈再掲〉 ふるさと奨学資金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学金支援助成金事業) 【Ⅰ:④雇用の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。	630	鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定者で湯梨浜町在住の方について、県と連携をとりながら申請を進めている。現在数名の申請が出ており、今後もよく連携を図りながら取り組んでいきたい。 H28 1名(H29に取消) H29 2名	45	申請者6人	33%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県と連携を取りながら進めた結果、数名の申請が出された。	教育総務課
89 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進① 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。 ・委員報償費 236千円 ・旅費 504千円 ・委託費 16,836千円 移住体験ツアー 270千円 「卓球」を通じた移住促進事業 1,493千円 総合相談センター、まちの保健室システム構築 600千円 4ha土地の全体基本計画、4ha土地におけるサ高住の事業計画 10,650千円 松崎商店街の再生事業 1,296千円 関西圏におけるニーズ調査 2,539千円 ・使用料及び賃借料 275千円 松崎駅前多世代交流拠点賃借料 221千円 移住フェア出店料 54千円 ・消耗品・役務費 138千円	17,989	■5月31日に、29年度推進交付金の変更交付決定がなされ、委託契約に向け内容の検討など調整を行った。 ■6月2日に第1回(仮称)4ha基本計画策定プロジェクト・チーム会議を開催し、平成29年度中に10回行った。8月には4ha土地全体基本計画策定業務・関西圏におけるニーズ調査業務を委託し、拠点整備計画の仕様検討を行った。また、1月にはサ高住事業計画業務を委託し、サ高住の事業成立性等について検討を進めた。 ■7月24日には松崎駅前施設の設計監理業務を委託し、今年度末の完成を目指して拠点整備を進めた。12月には総合相談センター・お試し住宅整備工事、1月には多世代地域交流拠点施設改修工事(第1期)に着工し、3月末に完成。お試し住宅は、旅館業法による簡易宿泊所営業の許可を受けた。総合相談センター及びゆりはま暮らしお試し住宅は、湯梨浜まちづくり会社を指定管理者とし、運営を委託した。併せて、12月から松崎商店街再生のためのブランディング計画策定業務を委託し、景観資源や生産物資源を調査し、計画を策定した。 ■8月に「卓球」を通じた移住促進事業業務を委託し、9月1日の「まちおこしイベント卓球」の開催を含め、関東圏での湯梨浜町PR活動を行った。 ■11月27日～28日に「生涯活躍のまち移住体験ツアー」を実施。14名が参加した。	17,601	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)	47%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 CCRCに参画する事業者・団体数は、今年度に入ってからは増加していないが、今年度予定していた委託業務等はほぼ計画どおり実施できた。駅前多世代地域交流拠点の改修工事については、今年度終了しなかったため、翌年度2期工事を発注予定。 達成率 ①189/200=95% ②0/1=0% (95+0)/2=47%	みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
90 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進②【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊5名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。</p> <p>【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(5名) 19,960千円</p>	16,544	<p>■毎月1回まちづくり会社事業進捗会議を開催。まちづくり会社の事業運営について協議を行っている。</p> <p>■5月27日に松崎地区で開催された軽トラ市の運営に協力し、まちの賑わいづくりに尽力した。</p> <p>■町からふるさと納税業務を受託し、寄付額向上に向けて業務を行った。</p> <p>■協力隊員3名が、それぞれ9月末、12月末、3月末をもって退任。2名を追加募集したが、平成29年度中は応募がなかった。</p>	311	<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>	Z	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 CCRCに参画する事業者・団体数は、今年度に入ってから増加していない。 駅前多世代地域交流拠点の改修工事については、今年度終了しなかったため、翌年度2期工事を発注予定。 達成率 ①189/200=95% ②0/1=0% (95+0)/2=47%</p>	みらい創造室
91 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進③	<p>【地方創生拠点整備交付金】※繰越明許</p> <p>○松崎駅前拠点等整備事業(地方創生) ・松崎駅前多世代地域交流拠点施設 ・松崎駅前総合相談センター・お試し住宅 設計・監理業務委託料 10,500千円 工事請負費 82,100千円 備品購入費 7,990千円</p>	100,590	<p>■4月～5月に国と変更協議を行った。</p> <p>■5月24日～6回にわたり関係各課と総合相談センターのあり方について検討協議を行った。</p> <p>■7月24日には松崎駅前施設の設計監理業務を委託し、今年度末の完成を目指して拠点整備を進めた。12月には総合相談センター・お試し住宅整備工事、1月には多世代地域交流拠点施設改修工事(第1期)に着工し、3月末に完成。お試し住宅は、旅館業法による簡易宿泊所営業の許可を受けた。総合相談センター及びゆりはま暮らしお試し住宅は、湯梨浜まちづくり会社を指定管理者とし、運営を委託した。</p>	75,463	<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>	47%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 CCRCに参画する事業者・団体数は、今年度に入ってから増加していない。 駅前多世代地域交流拠点の改修工事については、今年度終了しなかったため、翌年度2期工事を発注予定。 達成率 ①189/200=95% ②0/1=0% (95+0)/2=47%</p>	みらい創造室

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

44

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
92 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④ 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ・「まちの保健室」等事業にかかる報償金 122千円 ・地区での健康教室に係る消耗品 94千円	216	4月10日に、今年度のまちの保健室(モデル地区2地区)の実施内容について、看護大学、地域おこし協力隊、健康推進課で協議した。 新川地区については5月20日に、区長、区役員と協議し11月18日(参加者15名)、H30年2月3日(参加者23名)に鳥取看護大学と連携し実施。2月中旬にまちの保健室通信(2月3日の報告及び検診受診勧奨)を発行。 平成29年度からスタートする松崎地区については、8月27日に、松崎地区区長会において、まちの保健室について取り組みの合意を得た。鳥取看護大学と連携し10月8日には三八市で開催(参加者45名)3月10日には中央公民館で、食改と連携し減塩味噌汁の試飲等実施(参加者43名)	8	モデル地区2地区選定。 まちの保健室の開催	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 看護大学、地域おこし協力隊、みらい創造室他関係課と連携を密にし効率的な実施を目指す。 達成率 2/2=100%	健康推進課
93 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑤ 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】※6月補正予算計上 ・地域包括ケアシステムの確立に向けた取組 H28年度に策定した「生涯活躍のまち地域包括ケア計画」を踏まえ、地域包括ケアシステムにおける相談体制強化を図っていく。 ・地域包括ケアシステムの確立に向けた取組 委託費 0千円(6月補正予算にて5,000千円計上し、12月補正予算で皆減)	0	・補正予算編成の過程でシステム導入でなく、他の方法での事業検討を行っていくこととなった。 ・5/24に関係課で「総合相談センターに関する内部協議」が開催され、各課の現状を話し合った。 ・7/18に「ゆりはま未来づくり本部会議」が開催され、問題点等話し合った。 ・8/9、9/8に関係課で「総合相談センターに関する内部協議」が開催され、センターの活用について話し合ったが、相談体制の協議には至らなかった。 ・現在のところ、事業内容の決定には至っていない。 ・12/1に「総合相談センター」のあり方について関係課で協議したが、結論は出なかった。 ・相談・支援体制の強化を図るため、マンパワーの活用やICT(情報通信技術)の活用等も含め、効果的な相談・支援体制の方策について検討したが、①現状では地域包括支援センターで町民の来庁や電話等による相談を受け、個別訪問により相談への対応をきめ細やかに行っていること、②システム導入等については導入した場合のランニングコストや将来の更新費用等の経費、システム活用に対する疑義、マンパワーの不足等の課題があることなどから、システム導入を行わず引き続き現状での対応を行っていく方が良いとの結論に至った。	0	相談窓口システムの構築・運用	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 相談・支援体制の強化を図るため、マンパワーの活用やICT(情報通信技術)の活用等も含め、効果的な相談・支援体制の方策を検討してきたが、引き続き現状の地域包括支援センターで町民の来庁や電話等による相談を受け、個別訪問により相談への対応をきめ細やかに行っていくこととした。	長寿福祉課

44

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
94 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑥	町営住宅建替えについて、生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての整備計画の検討 ・建設場所 ・規模(戸数) ・財源計画 等	0	・事業発注手法について、PFI(官民連携方式)による方法に係る協議・検討を継続的に行っている。 ・(仮称)4ha基本計画策定プロジェクト・チーム会議に参加し、拠点整備計画の仕様検討を行った。 ・町営住宅建替えについて既存住宅入居者の意向を確認するためのアンケート調査の実施した。	0	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)	47%	【評価:D 計画より遅れている】 当初の予定よりやや遅れている感はあるが、事業実施に向けて内容検討を進めていく。 達成率 ① $189/200=95\%$ ② $0/1=0\%$ $(95+0)/2=47\%$	町民課
95 ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー事業	【地方創生推進交付金】※当初予算計上 地域で活躍する女性を前面にPRする町全体の取組の中で、女性が活躍できる町を県外へアピールし、女性を中心とした町内への移住定住の促進を図る。	829	■各相談会、定住機構のDMでセミナーと体験ツアーの周知を行った。 ■9月16日ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー東京を開催した。(参加29名) ■9月24日ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー大阪を開催した。(参加27名) ■10月14日～15日ゆうゆう移住体験ツアーを実施した。(参加5名) ■相談会、ツアーでの相談者(女性)2名が移住について具体的な相談に入っている。	565	移住について具体的な相談に入っている女性の数:3人	67%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー(東京、大阪)と移住ツアーを開催し、湯梨浜町のPRと主に女性に対する移住支援紹介を実施した。 達成率 $2/3=67\%$	みらい創造室

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
96 地域おこし協力隊事業	総合計画や過疎計画の進捗状況を確認し、一層の取り組みが必要な分野について、関係課と推進方策について話し合う。地域おこし協力隊の活用が有効と思われるものについて、その導入、またはその支援を行う。	0	<ul style="list-style-type: none"> ■協力隊の活用が有効と思われる分野について、導入の検討を働きかけた。(観光分野等) ■導入を計画している事業について、募集の手続きを行った(延3回) 	0	協力隊の任用 1名	0%	【評価:D 計画より遅れている】 みらい創造室所属の隊員を延3回募集したが、応募はなかった。	企画課
97 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	<p>コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。</p> <p>(交付決定後、補正予算で対応) ◆通信運搬費 13千円</p> <p>◆補助金2件 3,500千円 ①新川区 ②長和田区 ※6月補正予算計上</p>	3,513	<ul style="list-style-type: none"> ■自治総合センターによる事業採択件数2件(新川区、長和田区) ■H29採択自治区へは、7/10交付決定。新川区については11/22事業完了(12/1検査)、長和田区については11/6事業完了(11/17検査)。 ■H30募集については、10/5を期限として、現在全区長へ照会。15区の応募を取りまとめのうえ、県へ申請(10/19提出)。 ◆通信運搬費 13千円 ◆補助金2件 3,500千円 ①新川区 ②長和田区 	3,513	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ■平成29年度採択自治区への交付決定手続、平成30年度募集手続は完了。	企画課
98 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	<p>まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が永続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。</p> <p>◆交付補助金 300千円 1件200千円×1団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業)</p> <p>◆役務費 5千円 ※県費:市町村交付金(1/2)</p>	305	<ul style="list-style-type: none"> ■申請のあった2団体に対して交付決定を行い、補助金を交付した。 【申請団体】 ●創造事業:鬼嫁の里プロジェクト 10月3日～10月28日までの4日間、三八市を開催。 ●ステップ事業:中華コスプレ大会実行委員会(完了) 実施期間:4月5日～6月22日 ■8月1日～9月22日までHP/チラシによる広報活動を実施し、新規団体の募集を行ったが、申請団体0件であった。 ◆交付補助金 300千円 1件200千円×1団体(鬼嫁の里プロ) 1件100千円×1団体(中華コスプレ実行委) ◆役務費 0千円 	300	まちづくりを創出する団体の育成 創造事業 3団体 ステップ事業 1団体	50%	【評価:D 計画より遅れている】 ■申請団体に対しての交付手続等事務作業は、計画どおりに進んでいるが、新規団体の掘り起こしに至っていない。 達成率 2/4(創造3・ステップ1)=50%	企画課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
99 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・納税奨励事業交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金 計 35,906千円 ◆通信運搬費 62千円	35,968	■集落運営交付金・防犯灯維持管理交付金・区長等事務費交付金については75区全区に対し交付決定・交付を実施した。 ■集落活性化交付金については、世帯数、事業実施の有無の問題から、申請が出てきていない区もあり、全区での活用には至っていない。 ■防犯灯設置交付金・自主防災組織運営交付金については、実施した区に対して随時交付決定・交付を実施した。 ■県LED防犯灯設置補助金に関しては、小浜区・長和田区における防犯灯設置について補助金申請を行った(13千円)。 ◆補助金 計 34,131千円 ◆通信運搬費 32千円	34,163	集落づくり総合交付金:75地区	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ■計画どおりに進んだ。 達成率 75/75=100%	企画課
100 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,639千円 ◆役務費 6千円	3,645	■現在、対象全地域(12地域)の実施する運動会などの事業に交付決定した。引き続き、町内のにぎわいの創出と住民間の交流の促進を促す。 ◆補助金 3,583千円 ◆役務費 4千円	3,587	地域にぎわい創出補助金:12地域	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ■計画どおりに進んだ。 達成率 12/12=100%	企画課
101 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 11団体 470千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 4千円 ◆報償費 3千円	482	■新規登録団体は4団体であったが、うち3団体については、団体登録のみで、助成金の交付には至らなかった。 【助成金交付決定団体】 11団体 ◆補助金 11団体 322千円 ◆消耗品費 1千円 ◆通信運搬費 1千円 ◆報償費 3千円	327	NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体	50%	【評価:D 計画より遅れている】 助成金交付団体数の増はなかった。ただ、助成金交付決定には至っていないが、新規登録団体数は増加している。(H29:新規登録4団体) 達成率 1/2=50%	企画課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成29年度事業実績

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
102 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。 30件以上の各種団体・集落の研修を実施していく。 また、自主防災組織を3地区以上設立する。 ・社会保険料 382千円 ・賃金 2,520千円 ・旅費 10千円 ・消耗品郵券料 364千円	3,276	【各種団体・集落の研修】合計回 4月…2回、5月…1回、6月…5回、7月…1回、8月…1回、9月…2回、10月…6回、11月…4回、12月…3回、1月…1回、2月…0回、3月…1回 【自主防災組織】 4月 自主防災組織あての補助金等のお知らせ郵便を全自治会に郵送。未組織集落にも依頼文書を同封。 12月 泊4区長宅へ訪問し説明 1月 泊5区長宅へ訪問し説明	2,839	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。30件以上の各種団体・集落の研修を実施していく。 また、自主防災組織を3地区以上設立する。	62%	【評価:D 計画より遅れている】 各種団体・集落の研修27/30 自主防災組織1/3 未組織集落の現状として、集会所の無い集落、組織化しなくとも防災活動を展開されている集落などがあり、組織化する必要性を感じていない状況である。 達成率 研修27/30=90% 組織1/3=33% (90+33)/2=62%	総務課
103 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるために拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。5カ所想定	2,000	4地区(南谷、はわい温泉、松崎2区、上浅津)の集会所、公民館のバリアフリー改修が終了した。 ・南谷公民館 和式トイレを洋式に改修 ・はわい温泉区温泉集会所 玄関にスロープ設置 ・松崎二区公民館 和式トイレを洋式に改修 ・上浅津農事集会所 階段に手すりを設置	625	バリアフリー改修5地区	80%	【評価:D 計画より遅れている】 4地区が事業実施したが、実施を検討していた1地区が辞退し、目標5地区を達成できなかった。 達成率 4/5=80%	総合福祉課
104 買い物難民対策事業	町フォーマルサービス・インフォーマルサービス一覧にのりあいバス、移動販売、ネットスーパー、宅配サービス等の情報を集約、必要に応じて情報提供を行い買物等不便者の解消を図る。 また、町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス運行事業の経費助成を行い移動支援の確保を図る。 ・補助金 190,000円(当初予算)	190	・平成29年度版フォーマル・インフォーマルサービス一覧表を改訂し、居宅支援事業所へ配布するなど周知を行った。 ・湯梨浜町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス事業に対し、移動支援事業補助金を交付した。 ・のりあいバスは計画どおり運行され、利用者も増加傾向にある。 【のりあいバス登録者数】 H29.4.1現在 羽合 6人 泊 11人 東郷 10人 計27人 H30.3.31現在 羽合 7人 泊 15人 東郷 12人 計34人	162	サービス一覧の更新を随時行い適正サービスにつなげる。 また、のりあいバス事業に係る経費の助成を行い、事業運営の安定を図る。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 平成29年度版フォーマル・インフォーマルサービス一覧表を改訂し、適正なサービスにつながるよう、居宅介護支援事業所へ配布するなど周知を行った。 湯梨浜町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス運行事業に対し移動支援事業補助金を交付し、事業運営の安定を図った。 なお、平成30年度からは、のりあいバスの運行は週1回となった。	長寿福祉課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
105 小さな拠点事業の推進	泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取組みを行う。地域住民が主体となった協議会により検討、住民説明会等を進め、計画策定を実施する。	294	<ul style="list-style-type: none"> ■4月県「鳥取県広域的な地域運営組織づくり支援事業」の申請を行い、交付決定を受理した。 ■4月26日第1回検討協議会会議開催 ■5月18日第2回検討協議会会議開催 ■5月29日(役場内)泊地域公共施設について打合せ ■6月住民説明会開催に向けて、会長・副会長と打合せ、各区長との日程調整、会議資料作成を実施 ■7月住民説明会開催(7月2日～20日14地区、165名参加) ■8月21日第4回検討協議会会議開催 ■9月25日第5回検討協議会会議開催 ■11月7日第6回検討協議会会議開催 ■12月住民アンケート実施 ■12月25日第7回検討協議会会議開催 ■3月28日第8回検討協議会会議開催 ■3月県「鳥取県広域的な地域運営組織づくり支援事業」の実績報告を行い、額の確定を受理した。 	197	小さな拠点計画の策定	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 住民説明会と住民アンケートの結果と意見集約を経て、協議会の方針が決定し、町への提言書案を作成した。	みらい創造室
106 〈再掲〉温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開【I:②観光産業の振興にも記載あり】 温泉水を活用したスッポン養殖事業	はわい温泉・東郷温泉の味覚の定番は冬の力ニであるが、期間が限定的なうえ、価格も高い。比較的安価で、通年提供できる町独自の名物料理を提供することで、他との差別化を図り誘客拡大を目指すもの。(スッポン養殖事業)	0	スッポン養殖について、事業用に借りている養殖事業者の水槽が地震によりひび割れし、また水源として利用している地下水くみ上げ設備も地震により修復不能となっており、設備が使えない状態となっている。養殖事業者は廃業の意向であり、今後事業継続は困難な状況である。	0	産卵と養殖体制の確立	0%	【評価:D 計画より遅れている】 10月2日に旅館組合から町へ方針を定めた状況報告書並びに協議書等が提出される予定。	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	決算額	目標	達成率	評価	
107 ICT推進事業①	行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 56千円	56	5月以降、県においても行政イントラシステム活用奨励が始まったのを受け、本システムが、県内自治体間の情報共有手段として浸透してきている。本町でも庁内グループウェアの掲示板で活用奨励を行ったが、新規ユーザ登録は30件の目標に対し6件、スペース立ち上げは5件の目標に対し1件の実績であった。 ◆負担金 56千円	56	①新規ユーザ登録30件 ②スペース（ワーキンググループ）の立ち上げ5件	20%	【評価：D 計画より遅れている】 行政イントラシステムでは、大半が登録済みの部署ユーザアカウントを使って情報を共有しているという活用実態が明らかになり、ユーザ登録の増加件数では、システムの活用実績が把握できないため、指標の見直しを行う必要がある。 達成率 新規登録 6/30=20% スペース 1/5=20%	企画課
108 ICT推進事業②	鳥取県と県内市町村（一部除く）がICT共同化広域連携協約を締結し、共同で構築した電子申請システムの運用開始と、情報通信技術に関する業務対応可能な職員育成に努める	867	鳥取県が「とっとり電子申請システム」の運用を開始した7月1日から、3様式（不在者投票請求書・道路通行規制願・住所表示変更証明申込書）で電子申請での受付を開始するとともに、2月6日・7日の2日にわたって、県と連携しての操作研修会をおこなった。 実績について、平成29年度における電子申請システムの利用は不在者投票の15件、研修参加者は3部署5名となった。 なお、平成29年度末現在で電子申請の運用を開始している自治体は、県内10自治体だが、取扱っている手続きは1手続きから38手続きと取り組みにバラつきが見られる。 本町においては、住民生活に関わりが深い分野での活用ができていないため、利便性向上のため、今後、先進的に取り組みをおこなっている鳥取市を参考にシステムの整備を検討する。	853	平成29年度における電子申請システムの運用開始と、県と連携しての操作研修の実施。	100%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 7月1日の受付開始を計画どおり実施するとともに、操作研修も全課に参加を呼び掛けて2月6日～7日におこなったが、取扱い様式は少なく、研修への参加者も5名に留まった。 今後、取扱い様式を増やすとともに、操作研修等の機会には参加を呼び掛けていく。	総務課

(単位:千円)

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
1	湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 戦略会議2回開催予定 48千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 604千円 ◆消耗品の購入、郵券料 130千円 平成30年度も引き続き総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	792			総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する			みらい創造室
2	農産物販路拡大及びブランド化推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 進物用パンフレットを見てJA等の生産者や役場に問い合わせをしてきた消費者が増えていることから、販路拡大につながるようパンフレットの作成を支援するもの。 【補助率】1/3以内 H28にパンフレットを大量(10万部)に印刷したため、H29は消費者の反応等を収集する期間とし、H30にそれらデータを見直し等を協議・新パンフレットの作成を行う。 ◆補助金(パンフレット作成支援) 306千円	306		0	梨の平均単価の単価増(最終的には全品目で+100円/10kg)	0%		産業振興課
3	鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)①	鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援するもの。 ◆補助金 7,308千円 内訳:生産基盤対策 54千円、連棟ビニールハウス導入6,000千円、果樹棚導入 1,160千円、育成促進対策 94千円	7,308		0	新品種(輝太郎)の新植面積の50a増	0%		産業振興課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
4	鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)②	<p>・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 【事業内容】県が注力している新品種(新甘泉、秋甘泉、王秋)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)・施設(果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど)の整備を支援。 【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存の品種が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6) 【対象者】町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合 ◆補助金 14,265千円 内訳:新植補助 865千円、省力化機械導入補助 2,400千円、かん水施設補助 1,200千円、園内道整備補助 400千円、多目的防風網整備補助 2,800千円、パイプ棚整備 200千円、果樹棚整備補助 3,300千円、育成奨励金 1,400千円、低コスト・体制強化事業 1,700千円</p>	14,265		0	対象農業者による省力化防除面積の20%増	0%		産業振興課
5	東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業	<p>【地方創生推進交付金】 (H27からの先駆型継続事業)後継者のいない梨園を借りて梨を栽培し、産地の維持に寄与するとともに規格外の梨を加工品用に出荷する等で6次産業化を目指す取り組みに対して支援。 【補助金】2,000千円(定額) 【事業者】東郷梨地域連携栽培プロジェクトチーム(産官学農福による連携プロジェクト)</p>	2,000		0	梨栽培面積30a増	0%		産業振興課
6	二十世紀梨を守る事業	<p>【地方創生推進交付金】 県事業の対象とならないオリジナルの二十世紀梨の苗木やハウス二十席梨の資材(苗木など)、ハウスの機能強化・強度向上に対して支援を行う。 【補助率】1/2 【対象者】町内で二十世紀梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合 ◆補助金 1,578千円 内訳:苗木・栽培資材支援 78千円、ハウス更新、機能向上支援 1,000千円、果樹棚、かん水施設設置支援 500千円</p>	1,578		0	新植またはハウス梨の機能向上面積を50a以上の増とする	0%		産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
7 湯梨浜版担 い手認定	○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金：就農3年以内の対象者に定額30万円、④ ○新規就農者住宅家賃補助：町外から転入する就農者に家賃の1/2(上限2万円)を補助、③・④ ○中古機械導入補助：中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助：農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)、①・②・③・④・⑤	3,240			準認定新規就農者：1人増 準認定農業者：2人増	0%		産業振興課
8 中核的担い 手農家育成 奨励金交付 事業(農業 生産現場強 化事業)	【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けした場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けした場合も対象としている。 町内者：2,000円/10a×年 町外者：1,000円/10a×年	1,282			権利設定面積 8ha	0%		産業振興課
9 もうかる6 次化・農商 工連携支援 事業	※3年間の事業が完了し、今年度は事業実施なし	0			計画認定者の 農産物販売金額 27,556千円	0%		産業振興課
10 知的所有権 取得支援	○知的所有権取得支援事業 知的財産物(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を希望する事業者に対して経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限15万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金150千円×1団体=150千円	150		0	新規取得：1 件	0%		産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
11 パッケージデザイン作成助成事業	○パッケージデザイン作成助成事業 町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料糖を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たに行う事業者に対し、経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限8万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金 80千円×1団体=80千円	80		0	新規作成: 1件	0%		産業振興課
12 砂丘農業復活プロジェクト事業	羽合砂丘地(畑)において、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に5haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。生産作物は芝(米産、ティフブランド)。また、次年に規模拡大する場合、地権者との協議を実施する。 ・29年度に2.1ha利用権設定 ・30年度は引き続き残り2.9haを提示することを目標とする。	0		0	耕作者への利用権設定提示面積 2.9ha	0%		産業振興課
13 種苗放流支援事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 274千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 266千円	540		0	シジミ漁獲量 30t増	0%		産業振興課
14 沿岸漁業活性化推進事業	町内の漁業者が省エネルギー化により漁業経営改善を図るために、省エネ型エンジンを購入するための経費に対する補助支援。 ※要望、申請見込みなし	0		0	省エネ型エンジン搭載漁船: 1隻増	0%		産業振興課
15 海の駅とまりブランド化事業	【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,800千円 内訳: ブランド構築のためのコーディネート業務 1,800千円、新商品製造販売支援 1,000千円	2,800			オリジナル商品の開発: 3件			産業振興課

(単位:千円)

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
16	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。H30年度はドイツ語、フランス語、イタリア語の3言語版を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 551千円 ◆筆耕翻訳料 216千円	767			推進交付金 (H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国			産業振興課
17	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とまり2コースの芝生の改設 58,699千円 ◆レストラン外構工事 2,970千円 ◆施設内外の看板再整備 3,503千円	65,172			推進交付金 (H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国			産業振興課
18	グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、PR活動・実行委員会を通じた国際大会の開催・国際組織設立に向けた検討・用具海外販売促進を実施する。 ◆PR活動4,077千円 ◆国際大会関連3,730千円 ◆国際組織設立検討1,063千円 ◆用具海外販売促進2,700千円	11,570			推進交付金 (H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国			みらい創造室

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
19	ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	<p>【地方創生推進交付金】 町の認定したウォーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。 ・ゆりはま天女おもてなしウォーク (実行委員会補助金) 湯梨浜町ウォーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 ●実行委員会補助金 ・PR経費(チラシ・ポスター作製他) 1,450千円 ・海外プロモーション 2,616千円 ・オルレ負担金 2,000千円</p>	6,066			<p>推進交付金 (H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>			健康推進課
20	ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進②	※平成29年度に終了	0						健康推進課
21	アロハカーニバル事業【I:③商工業の振興にも掲載あり】	<p>本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風にアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンプラリー等の誘客関連の取り組みを行い、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープニングイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円</p>	1,250			<p>①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上</p>			産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
22 天女のふる里づくり事業①	・東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」として5か年計画で実施してきた事業の一層の伸展に向け、①緑化・植花の取り組み、②天女を活用した観光振興の二つを柱とした東郷湖を中心とする活性化事業について重点的に進めていく。地域おこし協力隊を1名任用し、事業推進にあたる。 ◆非常勤職員報酬 1,992千円 ◆社会保険料 326千円 ◆委員報償費等 196千円 ◆委員旅費 128千円 ◆消耗品 20千円 ◆通信運搬費 20千円 ◆交付金 1,674千円	4,536			①緑化・植花の取組:2件 ②天女を活用した観光振興策:2件			企画課
23 天女のふる里づくり事業②	・天女のふる里づくり事業 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施するほか、これまで取り組んできた植樹等の事業の成果(経過)を情報発信する。 ◆イベント参加旅費 197千円 ◆消耗品 75千円 ◆通信運搬費 10千円 ◆モニュメント保険料 3千円 ◆高速道路使用料等 13千円	298			①イベント参加:2回 ②花関連情報発信:3回			企画課
24 天女のふる里づくり事業③	・宇宙(そら)桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29に実施。宇宙の桜=「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹1年目) ◆旅費 77千円 ◆消耗品 70千円 ◆使用料 31千円 ◆原材料費 33千円	211			宇宙桜に関連した取組:3回			企画課
25 天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 1,000千円	1,000			寄付金額を100万円とする。			企画課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
26	天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」の活用を進める。 ◆ぬいぐるみ作成委託料 486千円 ◆ノベルティ等作成 255千円 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 189千円	930			デザイン活用45件 着ぐるみ活用45件			産業振興課
27	温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開【Ⅲ：②まちのにぎわい創出や拠点の形成にも記載あり】温泉水を活用したスポン養殖事業	※事業継続困難のため実施なし							産業振興課
28	水明荘経営改善事業	国民宿舎水明荘は年々宿泊客数、休憩客数が減少している。交流人口の増大を目指し、地域のモデルとなるべく、経営の専門家に依頼し、現状調査・分析を行うことで、問題点の明確化を図り、改善に向けた具体案を作成し、経営改善に向けた取組強化を行うことにより、宿泊客等をはじめとする観光入込客数を増やし、東郷温泉の振興及び町の活性化を図る。 ◆経営アドバイス等研修講師謝金 173千円	173			ネット評価：4.2以上			産業振興課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
29	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	<p>・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円</p>	531			<p>推進交付金 中部エリア (H31.3) ①年間観光入込客数 100,000人(H30増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H30増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(H30増加分)</p>			産業振興課
30	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	<p>【地方創生推進交付金】 中部地域及び岡山県蒜山地域の観光プラットフォーム機能を充実させて次の事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 22,000千円 おもてなし、受入環境整備事業 温泉地イメージ戦略事業 情報発信事業 プロモーション推進事業 誘客戦略事業 ◆湯梨浜町負担金 3,604千円</p>	3,604			<p>推進交付金 中部エリア (H31.3) ①年間観光入込客数 100,000人(H30増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H30増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(H30増加分)</p>			産業振興課
31	教育旅行のメニュー開発事業	<p>教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 9,761千円</p>	9,761			<p>2年後の修学旅行等の予約:10件</p>			産業振興課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
32	〈再掲〉 海の駅とまりブランド化事業 【I:①農林水産業の振興にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,800千円 内訳:ブランド構築のためのコーディネート業務 1,800千円、新商品製造販売支援 1,000千円	2,800			オリジナル商品の開発:3件			産業振興課
33	ゆうゆうゆりはま事業	【地方創生推進交付金】 女性が輝き、主役となるまち湯梨浜を外部に向けて発信するため、様々な分野で活躍する女性を3つの「ゆうゆう(悠々・優々・遊々)」で表現し、町の魅力アップや産業振興のツールとして活用する。 ◆イメージアップ業務委託料 12,663千円 ◆ブランド化業務委託料 4,860千円 ◆都市圏でのPR業務 7,722千円	25,245			新規就業者数(常用雇用者数) 200人(年間)			産業振興課
34	食と健康のまちづくり事業	【地方創生推進交付金】 タニタヘルスツーリズムの展開 ・ウォーキングステーション飲食店とタイアップした健康計測機設置やタニタ監修メニューの提供 ・町外者参加のスポーツ大会等でのタニタ監修メニュー弁当の提供 ◆タニタヘルシーツーリズム業務委託料 3,200千円	3,200			【目標】ヘルスツーリズム参加者数(監修メニュー提供数) 500人			産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
35 ゆりはまじげ産業支援事業	町内での起業や新事業に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 3,000千円×1事業者	3,000			起業や新事業への取り組みの支援1件			産業振興課
36 チャレンジショップ支援事業【I:④雇用の推進にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆賃借料補助金 840千円 内訳:新規1件 480千円、継続2件 360千円	840			新規申請2件			産業振興課
37 〈再掲〉アロハカーニバル事業【I:②観光産業の振興にも記載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風にアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンプラリー等の誘客関連の取り組みを行い、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳:オープニングイベント300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等)505千円 イベントPR費用650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額1,250千円	1,250			①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上			産業振興課
38 ふるさと名物応援事業	国の補助金を活用した4事業者が、ふるさと名物関連商品の販売とその販路開拓を進める。加えて、国の補助対象とならなかった事業を町として支援し、ふるさと名物のさらなる普及に努める。 ◆補助金 150千円×2事業者=300千円	300			4事業者のフォローと町補助制度による支援			産業振興課
39 環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を目指す。 ◆対象事業費3,237千円(委託料:生ごみリサイクル活用事業)	3,237			生ごみ回収協力区の拡大 H29末 10区 ⇒ H30末 11区以上			町民課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
40 看護師、保育士奨学金助成事業 (ふるさと奨学金支援助成事業) 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子:180千円 ◆有利子:135千円	315			申請者6人			教育総務課
41 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金 【Ⅰ:③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆賃借料補助金 840千円 内訳:新規1件 480千円、継続2件 360千円	840			新規申請2件			産業振興課
42 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 新たに町内在住者が町内の事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり200千円(新卒者は300千円)。 ◆200千円×5名分=1,000千円	1,000			新規雇用者5人			産業振興課
43 雇用促進奨励金事業②	・県中部雇用促進奨励金事業 新たに町内在住者が中部圏域内の県企業立地事業補助金の対象となった事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり300千円。中部圏域市町が連携して取り組む事業(各市町で補助要綱作成)。 ◆300千円×3名分=900千円	900			新規雇用者3人			産業振興課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
44	就職関連情報提供事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する県制度の活用を進める。	0			町内のUターンや定住を進めるため、県制度を活用して情報提供を行う。			産業振興課
45	中部圏域への企業誘致推進事業 (広域連携)	圏域の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、関西事務所などを活用して情報提供を行う。	0			情報提供している町内工業団地への企業進出数 1件			産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
46 家庭子育て支援事業	低年齢児(満1歳6カ月未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満1歳6カ月に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆6,287千円/3カ月×4回=25,148千円	25,148			年度末時点で1歳6か月未満児の家庭での子育て率を87.4%以上とする。			子育て支援課
47 多子世帯保育料軽減事業	平成29年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の 第2子、無償。年収360万円以上の世帯。 同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず 第2子軽減	0			第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)			子育て支援課
48 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。(H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,508千円 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 37名 = 1,110千円 中学校卒業時 30,000円 × 28名 = 840千円 通信運搬費 8千円	3,508			第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)			子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
49 子育て世代包括支援センターの整備①	<p>・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目ない支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。 関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 ◆消耗品費、通信運搬費 83千円、委託料 389千円</p>	472			<p>○子育てプラン配布：妊娠届者全員、乳幼児健診受診者：全員 ○子育て応援プラン作成：妊娠届時必要と判断した人全員（20人程度） ○町内関係機関（要対協事務局・子育て支援センター）との情報共有の会：年6回 ○産科医療機関との会：1回</p>			子育て支援課
50 子育て世代包括支援センターの整備②	<p>・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 1,062千円、消耗品費 11千円</p>	1,073			<p>アウトリーチ型：年30件 デイサービス型：年11回</p>			子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
51 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	<p>・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘルパー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により虐待の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中来所した者に対し、個別又は集団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子来所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行う。 ◆助産師報償費 34千円、委託料 191千円(ヘルパー派遣・ショートステイ・デイサービス等)</p>	225			訪問型:10件 宿泊型:2件 デイサービス型:11件			子育て支援課
52 不妊治療費 助成事業	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み15件 1,413千円円 ◆人工授精費 見込み 4件 24千円 ◆不育症治療費 見込み 1件 50千円</p>	1,487			利用件数 特定不妊治療15件、人工授精4件、不育症治療1件			子育て支援課
53 ファミリーサ ポートセン ター事業の 充実	<p>子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。 調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR, 会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 1,921千円 ◆講師謝金、消耗品、郵券料 34千円 ◆活動保険料 79千円</p>	2,034			実利用者数の増。 年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(7人×1.5=11人)			子育て支援課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
54	18歳年度末までの医療費助成事業	小児医療対象者への医療費の給付(現物・現金)を実施する。 ◆特別医療費助成(小児) 50,982千円	50,982			【目標】 新規対象者(出生・転入者)のうち、90%以上の方に受給資格証を申請していただくよう周知に努める。			健康推進課
55	病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育:120人(定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 785千円 ◆病後児保育:45人(定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 704千円 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む)	1,489			利用者数 病児保育 120件 病後児保育 45件			子育て支援課
56	SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。	0			フェイスブック等による情報発信			子育て支援課
57	放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:7,046千円、羽合第2:8,985千円、東郷第1:7,112千円、東郷第2:5,550千円、泊:6,963千円	35,656			利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。			子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
58 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	・羽合西コミュニティ及び町内3小学校の空き教室を使用し、年間35回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後(月3回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費 1,885千円、消耗品・燃料費 97千円 保険料 90千円	2,072			運営委員会を開催し、各小学校等でこども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 児童数70名とする。			教育総務課
59 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかに過ごせる環境づくりを推進する。 羽合地域(長瀬、東田後)、東郷地域(舎人、大介)、4放課後子ども教室を実施する。 H30年度から東田後においては週2回開催を週3回開催とする。 ◆報償費(4教室分) 2,235千円、消耗品費 189千円	2,424			放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)作り。 年間参加児童数2,400名以上とする。			生涯学習・人権推進課
60 ゆりはま自主学習の広場事業(ゆりはま地域未来塾)	在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の下校後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に学習習慣の定着を目指すものであり、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国事業:『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金 351千円、消耗品・郵券料 51千円、保険料 48千円	450			運営委員会を開催し、各中学校で未来塾を実施し、学習習慣の定着を図る。 生徒数25名とする。			教育総務課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
61	学校支援ボランティア事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 また、自校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対し、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 62,000円	62			各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 小中学校で150名登録。			教育総務課
62	ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組みを拡充する。各小・中学校独自の取組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 【羽合小学校】総合的な学習(湯梨浜昔話お話会、はわい自慢調べほか)45,810円 【東郷小学校】総合的な学習(梨づくり、東郷池体験活動ほか)59千円 【泊小学校】総合的な学習(エンジョイフィッシング、泊貝がら節伝承ほか)94千円 【北溟中学校】湯梨浜調べ、ふるさと野外活動ほか60千円 【東郷中学校】伝統芸能継承、地域貢献ほか85千円	344			各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。 アンケート目標70%以上。			教育総務課
63	小学校社会科副読本作成事業	編集委員会の開催(小学校社会科教諭等)4回開催予定 ◆報償金2,400円×3名×4回=29千円	29			編集委員を委嘱し、委員会を開催。平成30年度出版を目指す。			教育総務課
64	ワーク・ライフ・バランスセミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナー開催する。 ◆需用費 10千円 ◆セミナー委託費 200千円 ◆企業応援奨励金 170千円	380			鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:16社(9%増)			企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
65 介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)養成事業	介護予防・健康づくりリーダーの養成を着実に実施していくとともにリーダー実習を支援して自主的活動展開へとつなげる。(5年計画の4期目) ◆講座講師報酬金 82千円 ◆実習参加謝礼 36千円 ◆講座テキスト代 33千円 ◆消耗品の購入、郵券料 47千円	198			介護予防・健康増進リーダー養成者数:20人 実習参加(3期生):1人2回以上 サロン実施(1~2期生):1人1回以上			長寿福祉課
66 歯・口の健康づくり推進事業	小学校においては、町が実施主体となり、学校歯科医師等の関係者と連携を図りながら実施していく。 ◆歯科保健指導、検討会出席謝金 63千円、消耗品・郵券料 182千円、洗口液作成・配達委託料 623千円	868			【目標】各小学校の全学年でフッ化物洗口を実施する。			健康推進課
67 健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) 年間計画に沿って実施(週2回、年75回) ◆講師謝金 312千円	312			【目標】教室参加人数を2,800人以上			健康推進課
68 健康相談・健康教室等の実施②	【地方創生推進交付金】 積立貯筋運動教室 町内の体育施設を利用して、健康体操を中心に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。 ◆講師謝金 1,104千円、消耗品・印刷費・郵券料101千円	1,205			【目標】各運動教室参加者 15名/回			健康推進課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
69 健康相談・健康教室等の実施③	<p>【地方創生推進交付金】 ウォーキングと温泉を利用した健康+観光推進事業 ウォーキングと温泉を活用した運動プログラムを周知することにより、実践につなげ町民の健康づくりにつなげる。 ◆消耗品費 200千円</p>	200			<p>【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーク教室の参加者を前年比110%とする。</p>			健康推進課
70 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携	<p>【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ◆「まちの保健室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 175千円</p>	312			<p>【目標】 モデル地区3地区選定。 まちの保健室の開催</p>			健康推進課
71 食と健康のまちづくり事業	<p>【地方創生推進交付金】 タニタ健康プログラムの推進 ・タニタ健康システムの機器の導入、運用 ・タニタ健康プログラムの推進 ◆健康のまちづくり事業委託料 2,609千円、活動量計ID使用料他 713千円、備品購入費(体組成計・血圧計他) 3,723千円</p>	7,045			<p>【目標】 町民向けの運動管理システム(活動量計)300台の導入</p>			健康推進課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
72 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進①【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>・生涯活躍のまち推進事業（地方創生推進） 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。</p> <p>◆生涯活躍のまち推進事業17,649千円 移住体験ツアー委託 351千円、移住PR事業費12,437千円、松崎商店街の再生事業3,382千円 平成30年度は、昨年度作成した4ha土地全体構想をもとに都市部でのPRのための資料作成や見学ツアーの実施等を検討していく。</p>	17,989			<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者：200人（H29）、980人（H32）</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（H29）、27団体（H32）</p>			みらい創造室
73 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進②【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊5名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。</p> <p>【地域おこし協力隊】</p> <p>・まちづくり会社で活動（4名） 15,997千円</p>	15,997			<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者：200人（H29）、980人（H32）</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（H29）、27団体（H32）</p>			みらい創造室

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
74	<p>〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】</p>	<p>【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。</p> <p>◆「まちの保健室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 175千円</p>	312			<p>【目標】 モデル地区3地区選定。 まちの保健室の開催</p>			健康推進課
75	<p>「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑤【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】</p>	計画なし							長寿福祉課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
76 縁結び支縁員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金 40千円 ◆婚姻成立時報償金 72千円	112			縁結び支縁員事業等により婚姻した件数:年1件			企画課
77 婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	200			平成30年度に広域連携による婚活イベントを実施。 パーティー型イベント:2回 婚活セミナー:3回			企画課
78 中学校統合に伴う北浜中学校及び東郷中学校の跡地利用計画の策定等	中学校統合等による跡地施設の有効利用を図るため、有効な利用方法を検討するための委員会を開催し、実施に向けた調整を行う。 ◆委員報償金 116千円 ◆消耗品費 10千円 ◆通信運搬費 12千円 【湯梨浜町学校跡地施設等利用検討委員会設置要綱】 【委員会】 □委員20人以内 【組織】 ①学識経験のある者又は住民活動を行う者 ②町議会の議員 ③町の職員 ④公募による者 【委員任期】 □2年	138			中学校ごとの検討案を報告する。			企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
79 IJUターン促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。 《H30予算額》418千円(旅費347千円、需用費30千円、役務費41千円)	418			移住について具体的な相談に入っている者数:5人			みらい創造室
80 空き家情報バンク活用促進事業	空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×2件=500,000円 《H30予算額》補助金 500千円	500			町外(県内)からの空き家バンク利用者数:2件			企画課
81 空き家対策事業	空き家改修事業補助金 移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 《H30予算額》補助金 500千円×2件	1,000			移住希望者へ空き家提供:2件			企画課
82 移住定住者住宅支援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《H30予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	4,500			県外からの転入者の定住:4件			企画課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
83	移住定住者住宅支援事業②	<p>・ゆりはま定住モデルハウス事業 土地開発公社分譲地を購入した上でモデルハウスを建築し、1年以上運営する事業者(ハウスメーカー等)に対して、補助金を交付することで、本町への移住定住と分譲販売の促進を図る。 (H30は計画認定のみ。債務負担行為設定済) ◆報償費 5千円 ◆通信運搬費 2千円</p>	7			モデルハウス補助金計画認定1件			企画課
84	町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	<p>町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 100千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)60泊 324千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 6千円</p>	456			ボランティア従事者:20名			企画課
85	若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	<p>どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×37件=18,500千円 新築・購入(中山間地域) 600千円×21件=12,600千円 新築・購入(土地開発公社) 1件 1,000千円 合計 59件、32,100千円</p>	32,100			若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:59件			企画課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
86	三世代同居世帯等支援事業	三世代家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世代で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×5件 2,500千円	2,500			新たな三世代家族の定住:5件			企画課
87	移住者運転免許証取得支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3件 450千円	450			県外からの定住者の免許取得:3件			企画課
88	住宅取得仲介報酬助成事業	中古住宅及び新築住宅用土地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×10件 1,300千円	1,300			中古住宅及び新築住宅用土地購入による、町内への定住:10件			企画課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
89	お試し住宅運営事業	<p>【地方創生推進交付金】 古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お試し住宅指定管理をまちづくり会社として運営する。</p>	9,000			お試し住宅利用件数: 24件			みらい創造室
90	<p>〈再掲〉 ふるさと奨学資金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学金支援助成金事業) 【I:④雇用の推進にも記載あり】</p>	<p>ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子:180千円 ◆有利子:135千円</p>	315			申請者6人			教育総務課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
91 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進① 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>・生涯活躍のまち推進事業（地方創生推進） 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。 生涯活躍のまち推進事業17,649千円 移住体験ツアー委託 351千円、4ha土地におけるサ高住の事業計画・基本設計12,437千円、松崎商店街の再生事業3,382千円</p>	17,649			<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者：200人（H29）、980人（H32）</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（H29）、27団体（H32）</p>			みらい創造室
92 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進② 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊5名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動（4名） 15,997千円</p>	15,997			<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者：200人（H29）、980人（H32）</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（H29）、27団体（H32）</p>			みらい創造室
93 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進③	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>平成30年度は、昨年度設計が完了した松崎駅前多世代地域交流拠点の改修工事を実施するとともに、拠点オープンに向け、備品購入や内容検討等を進めていく。</p> <p>○松崎駅前拠点等整備事業（地方創生） ・松崎駅前多世代地域交流拠点施設 設計・監理業務委託料 1,177千円 工事請負費 73,590千円 備品購入費 4,061千円 下水道負担金・温泉加入金 2,976千円</p>	81,804			<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者：200人（H29）、980人（H32）</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（H29）、27団体（H32）</p>			みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
94 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④ 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「まちの保健室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 175千円 	312						健康推進課
95 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑤ 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	計画なし							長寿福祉課
96 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑥	<p>町営住宅建替えについて、生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての整備計画の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設場所 ・規模(戸数) ・財源計画 ・用地取得 ・事業要望 等 				<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者：200人(H30)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体(H30)、27団体(H32)</p>			町民課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
97 ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー事業	<p>【地方創生推進交付金】 地域で活躍する女性を前面にPRする町全体の取組の中で、女性が活躍できる町を県外へアピールし、女性を中心とした町内への移住定住の促進を図る。 セミナー開催(東京、大阪) ツアー開催 報償費 30千円 旅費 377千円 需用費 60千円 役務費 81千円 委託料(ツアー) 240千円 会場使用料 109千円</p>	897			移住について具体的な相談に入っている女性の数:3人			みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
98 地域おこし協力隊事業	総合計画や過疎計画の進捗状況等を確認し、地域おこし協力隊の活用が有効と思われるものについて、その導入を働きかけ、またはその支援を行う。	0			協力隊の任用1名			企画課
99 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 (交付決定後、補正予算で対応) ◆通信運搬費 21千円 ◆補助金1件 1,400千円 ①南谷 ※6月補正予算計上	1,421			(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。			企画課
100 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役務費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	702			まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 3団体 ステップ事業 1団体			企画課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

事業名	計画		実績			KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価		
101 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・納税奨励事業交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金 計 36,407千円 ◆通信運搬費 62千円	36,469			集落づくり総合交付金:75地区			企画課	
102 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,632千円 ◆役務費 6千円	3,638			地域にぎわい創出補助金:12地域			企画課	
103 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 11団体 500千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円 ◆報償費 3千円	510			NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体			企画課	

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

事業名	計画		実績			KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価		
104 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。30件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を3地区以上設立する。 ◆社会保険料 388千円 ◆賃金 2,520千円 ◆旅費 10千円 ◆消耗品費 350千円 ◆通信運搬費 14千円	3,282			30件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を3地区以上設立する。			総務課	
105 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。5カ所想定 ◆400千円(平均助成額)×5カ所=2,000千円	2,000			バリアフリー改修5地区			総合福祉課	
106 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きに、のりあいバス、移動販売、ネットスーパー、宅配サービス等の情報を集約し、必要に応じて情報提供を行い、買い物等不便者の解消を図る。 また、町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス運行事業(平成30年度から週1回運行)の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図る。 ◆補助金 320,000円(当初予算)	320			社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また、のりあいバス事業に係る経費の助成を行い、事業運営の安定を図る。			長寿福祉課	

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

事業名	計画		実績			KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価		
107 小さな拠点事業の推進	<p>【地方創生推進交付金】 泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取組を行う。 地域住民が主体となった協議会により検討、住民説明会等を進め、協議会からの提案書を基に基本計画策定と基本設計を実施する。 ◆協議会運営 315千円 ◆基本計画策定委託 3,914千円 ◆基本設計委託 6,244千円</p>	10,473			小さな拠点計画の策定			みらい創造室	
108 〈再掲〉 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開 【I:②観光産業の振興にも記載あり】 温泉水を活用したスッポン養殖事業								産業振興課	
109 ICT推進事業①	<p>行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 56千円</p>	56			県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数: 30件			企画課	

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業計画

事業名	計画		実績			KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価		
110 ICT推進事業 ②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。	1,543			4部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続き5以上の追加				総務課

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

活力ある元気なまちづくりを行うため、地域資源を活かした個性豊かな産業の振興に努めながら、既存産業の充実はもとより、様々な産業の連携による新たな活力を創出します。

●数値目標（平成31年度）

指標	数値目標
温泉宿泊客数	20万人（年間）
新規就業者数（常用雇用）	200人（年間）

●基本的方向

- 二十世紀梨等の特産物を活かした果物大国を目指す農業、東郷池のシジミや日本海の豊富な水産物を活かした漁業、ちょうどの半分を占める森林を活かした林業、地場産業の振興に努めます。
- 温泉や歴史・文化、自然・健康、環境を活かした観光の振興を図り、交流人口の増加に努めます。
- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウオーキング」など本町の特性を活かしたまちづくりを推進します。
- 行政、町内の様々な団体、企業などによる連携体制を強化し、商工業の発展に努めます。
- 企業の新規立地や付加価値向上のための様々な取り組みを行うことにより、人材育成と雇用の確保に努めます。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①農林水産業の振興

《具体的施策》

- 二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進
- 新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進
- 農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓
- 遊休農地及び耕作放棄地解消への対策
- 東郷池や日本海の豊富な水産物を活かした漁業の振興
- 森林を活かした林業の振興

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
梨栽培面積	180ha	180ha
梨新品種への改植・新植	1.5ha	5.0ha
新規就農者	8人	15人
認定農業者（家）数	37経営体	50経営体
GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数	0件	3件（H27～31）
利用権設定面積	219.5ha	252.0ha
シジミの漁獲量	45t	200t
漁業経営体数	49経営体	49経営体
鉢伏林道周辺に係る施業面積	4ha	9ha

《具体的事業》

- 農産物販路拡大及びブランド化推進事業
- 鳥取梨等生産振興事業（農業生産現場強化事業）
- 東郷梨栽培促進事業（農業生産現場強化事業）
- 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業
- 果樹園等維持管理・流動化促進事業
- 湯梨浜版担い手認定
- 中核的担い手農家育成奨励金交付事業（農業生産現場強化事業）
- がんばる農家プラン支援事業（農業生産現場強化事業）
- もうかる6次化・農商工連携支援事業
- 知的所有権取得支援
- パッケージデザイン作成助成事業
- 砂丘農業復活プロジェクト事業
- 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開
- 種苗放流支援事業
- 地域資源商品化支援事業
- 港の資源振興事業
- 沿岸漁業活性化推進事業
- 特産品開発推進事業
- 鉢伏林道整備促進事業
- クヌギ原木林造成事業

②観光産業の振興

《具体的施策》

- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進
- はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上（滞在型観光・周遊観光の推進）
- 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進
- 観光客に対応した Wi-Fi の整備、誘客キャンペーンなどの推進（多言語対応、利便性の向上）
- 戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客

《重要業績評価指標（K P I）》

指標	現状	目標
海外からのイベント参加者数	55人	1,170人
海外からのイベント参加国数	2カ国	25カ国
スッポン出荷数	0匹	2,000匹
新規 Wi-Fi 整備施設数	0件	20件（H27～31）
着地型観光商品利用者数	533人	1,500人以上

《具体的事業》

- グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進
- ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進
- ワールドトレイルズカンファレンス事業
- アロハカーニバル事業

- 天女のふる里づくり事業による東郷湖周の魅力創造
- 温泉水を活用したスッポン養殖事業
- 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開〈再掲〉
- 観光関連施設情報環境（Wi-Fi）整備事業
- 名探偵コナン・ミステリーツアー事業
- 水明荘経営改善事業
- 観光施設等への外国語表記推進
- 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）
- 教育旅行のメニュー開発事業

③商工業の振興

《具体的施策》

- 事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援
- 地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進
- ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
支援制度を活用した起業数	3件	7件（H27～31）

《具体的事業》

- ゆりはまじげ産業支援事業
- 里山オフィス開設支援事業
- チャレンジショップ支援事業
- アロハカーニバル事業〈再掲〉
- 家業継承者支援事業
- ふるさと名物応援事業
- 環境創出プロジェクト事業
- 港の資源振興事業〈再掲〉
- アメリカ合衆国ハワイ郡との姉妹都市提携を活用した商品開発
- 中学校統合に伴う北溟中学校及び東郷中学校の跡地利用計画の策定等

④雇用の推進

《具体的施策》

- 地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出
- 就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進
- 高齢者の経験や知識を活用した就労の支援

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
支援制度を活用した雇用者数	2人	10人以上（H27～31）

《具体的事業》

- 看護師、保育士奨学金助成事業

- チャレンジジョブ支援事業〈再掲〉
- 雇用促進奨励金事業
- 就職関連情報提供事業
- 中部圏域への企業誘致推進事業（広域連携）

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

安心して子育てができる環境を整備するとともに、出会いと、子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が笑顔にあふれ、いつまでも健康で生きがいの持てる安心、安全のまちづくりを推進します。

●数値目標（平成31年度）

指標	数値目標
合計特殊出生率	1.95
出生数	160人（年間）

●基本的方向

- 全国的に急速な少子化が進み、また、家庭及び地域を取り巻く環境が変化する中で、安心して子どもを産み育てるための総合的な支援施策や福祉施策の実施を推進します。
- 共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを推進するため、お年寄りや障がいのある人を地域で支える取り組みの推進します。
- 人との絆や地域のつながりを活かしながら出会い・結婚を望む方を応援します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①子育て環境の推進

《具体的施策》

- 安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進（子育て世代の経済的な負担の軽減）
- 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化の推進
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進
- 地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていかうとするふるさと教育の推進
- 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
1歳6か月に到達するまで家庭で保育する率	62.2%	88.4%
第3子以降出産数	27人	150人(H27~31)
こども園待機児童数	0人	0人
自主学習の広場利用者数	小学生 0人 中学生 0人	小学生 280人 中学生 100人

故郷で暮らしたい児童の割合（アンケート実施）	—	70%以上
鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	12社	22社

《具体的事業》

- 家庭子育て支援事業
- 多子世帯保育料軽減事業
- 第3子以降中学校卒業祝金支給事業
- 子育て世代包括支援センターの整備
- 不妊治療費助成事業
- ファミリーサポートセンター事業の充実
- 18歳年度末までの医療費助成事業
- 病児・病後児・夜間保育事業の拡充（広域連携）
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進
- SNS等による子育て支援情報の提供
- ゆりはま自主学習の広場事業
- 学校支援ボランティア事業の推進
- ふるさと教育の推進
- 小学校社会科副読本作成事業
- 児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上
- ワーク・ライフ・バランスセミナー事業

②地域福祉の推進

《具体的施策》

- 地域や個人に密着した健康づくりの推進
- ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進
- 保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る
- アクティブシニアとして、町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
介護予防・健康づくりリーダー養成者数	0人	100人(H27～31)
CCRC事業に参画する民間事業者・団体数	0団体	27団体以上

《具体的事業》

- 介護予防・健康づくりリーダー（ゆりりんメイト）養成事業
- 歯・口の健康づくり推進事業
- 健康相談・健康教室等の実施
- 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携
- 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進

③結婚の出会いの場づくりと情報提供

《具体的施策》

- 結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進

○出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
結婚支援事業による婚姻件数	1件	5件（H27～31）

《具体的事業》

- 縁結び支縁員事業
- 婚活イベント事業（広域連携）

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

豊かな自然環境を活かしながら本町の魅力を発信し、都市部からのひとの流れをつくとともに、町民一人ひとりが積極的にまちづくりに参画し、町民と行政が連携・協働してまちづくりを推進します。

●数値目標（平成31年度）

指標	数値目標
県外からのI J Uターン者数	850人（H27～H31）
転入転出異動	H31年度均衡

●基本的方向

- 超高齢化の進行や社会情勢の変化により、人口減少・空き家が増加していることから、町の魅力を積極的に発信しながら、移住希望者への支援体制を整備し、移住定住を促進します。
- 生活様式や個人の価値観が多様化する中、今以上にコミュニティーの醸成を図るため、町民や団体が主体となって行うまちづくり活動を支援します。
- 地域住民が主体的・意欲的に取り組む地域を守る防災体制づくりや、だれもが参加しやすい拠点づくり、基盤整備を推進します。
- NPO法人、ボランティアグループの育成を図り、各分野における住民参画を促進します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①移住定住の推進

《具体的施策》

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やI J Uターンの促進に向け広く本町の魅力を発信
- 若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進
- 空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進
- 移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
空き家バンク成約件数	3件	25件（H27～31）
若者・子育て世代の移住件数	0件	55件（H27～31）

《具体的事業》

- I J Uターン促進事業
- 空き家情報バンク活用促進事業
- 空き家対策事業
- 移住定住者住宅支援事業
- 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業
- 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業
- 三世代同居等支援事業
- 移住者運転免許証取得支援事業
- 住宅取得仲介報酬助成事業
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業の推進
- お試し住宅運営事業
- ふるさと奨学資金貸与事業
- 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進（再掲）
- 町営住宅の若者向け住宅とCCRCによる高齢者住宅の改修

②まちなぎわい創出や拠点の形成

《具体的施策》

- 町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進
- いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進
- 分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る
- 山陰自動車道（北条道路）の観光・企業誘致への活用及び緊急時、福祉、健康対応のためのユニバーサルデザインによる道路などの基盤整備を推進
- 地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興
- ICTの急速な進化がもたらす社会への対応
- 地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進
- 温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る
- 環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す
- 観光地周辺の道路などの基盤整備を推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	現状	目標
新規自主防災組織取組件数	65件	75件（H27～31）
集会所バリアフリー件数	0件	25件（H27～31）
小さな拠点の数	0地域	1地域（H27～31）
温泉熱エネルギー利用施設数	0施設	4施設（H27～31）
NPO法人、ボランティアグループの数	36団体	47団体

《具体的事業》

- 地域おこし協力隊事業

- 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援
- 防災対策特別強化事業
- 小地域拠点集会所等バリアフリー事業
- 買い物難民対策事業
- 小さな拠点事業の推進
- 山陰道からのアクセス道及びユニバーサルデザインによる基盤整備事業の推進
- 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開〈再掲〉
- ICT推進事業
- 観光地周辺の道路などの基盤整備事業